MAXZEN

地上・BS・110度CS フルハイビジョン液晶テレビ

J50TS06

取扱説明書



HDMI端子 2系統
LEDバックライト搭載

【注意】USB外付けハードディスクをご使用の場合、本製品を初期化または修理をされますと録画データはご覧になれなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

このたびはマクスゼン製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

■ご使用前に必ずこちらの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえで正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用になる人や周りの人の安全に関する内容を記載しているため、必ずお読みになり正しくお使いください。

■お読みになられたあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でのみご使用ください。

※本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

A00

マクスゼン株式会社

もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

準備をする

付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

もくじ つづき

録画・予約をする 41

番組を録画する ····· 41
番組表で予約をする ····· 42
メッセージが表示された場合 ····· 42
マルチ表示の番組表で予約するとき ····· 42
連続ドラマを予約する ····· 43
日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする ····· 44
日時を指定して予約をする ····· 44
番組を検索して録画・予約をする ····· 44
録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき ··· 45
予約の確認・変更・取り消しをする ····· 46
予約・録画の優先順位と予約の動作について ··· 47
予約・録画の優先順位について ····· 47
予約の動作について ····· 47

再生する 48

録画した番組を再生する ····· 48
再生の基本操作とさまざまな再生のしかた··· 48
録画番組の再生中にできるリモコン操作···· 49
録画番組の情報や番組説明を見る ····· 50
録画番組を修復する ····· 50
見たい録画番組を探して再生する ····· 51
不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する ····· 52
一つの録画番組を消す ····· 52
複数の録画番組を消す ····· 52
グループ内の録画番組をすべて消す ····· 52
自動的に消す（自動削除設定） ····· 52
誤って消さないように保護する ····· 52
録画リストのさまざまな機能を使う ····· 53
繰り返し再生の設定を変える ····· 53
番組を並べ替える ····· 53
ほかの機器を選択する ····· 53
連ドラ予約をする ····· 53
機器の情報を確認する ····· 53
ハードディスクの残量を確認する ····· 53

編集・ムーブする 54

チャプター編集をする ····· 54
録画済番組の再生中に編集する ····· 54
グループ名を変更する ····· 54
ほかのグループに移動する ····· 55
録画番組を他の録画機器にムーブ(移動)する ····· 56

接続機器を使う

外部機器を接続する 57

外部機器を接続する ····· 57
映像機器接続例 ····· 57
アナログ音声入力端子付のオーディオ機器で聴くとき ····· 58
デジタル音声（光）端子付のオーディオ機器で聴くとき ····· 59
HDMI連動対応のオーディオ機器で聴くとき ····· 59
外部入力の機能を設定する ····· 60
入力切換時に画面に表示される機器名を設定する ····· 60
使用しない外部入力をスキップする ····· 60
ビデオ入力の音声入力を設定する ····· 60
HDMI連動について ····· 61
HDMI連動機能でできること ····· 61
HDMI連動機能について ····· 62
本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする ····· 62
本機のリモコンで対応機器を操作する ····· 63
機器を操作する ····· 63
本機のリモコンでできるおもな操作 ····· 63
オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く ·· 64
オーディオ機器のスピーカーで聴く ····· 64

インターネットに接続する

インターネットに接続する 65

インターネットを利用するための接続をする ····· 65
本機をインターネットに接続したときにできること ····· 65
接続のしかた ····· 65
インターネットを利用するための設定をする ····· 66
IPアドレス設定 ····· 66
DNS設定 ····· 66
プロキシ設定 ····· 66
接続テスト ····· 66
ネットワーク情報 ····· 67

調整・設定をする

映像を調整する 68

お好みの映像モードを選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・ 68
お好みの映像に調整する・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
バックライト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
コントラスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
黒レベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
色の濃さ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
色あい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
精細感・ノイズ調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
コントラスト感調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
色温度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
映像調整の初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

音声を調整する 70

お好みの音声に調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
高音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
低音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
バランス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
デジタル音声出力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
デジタル音声出力タイミング・・・・・・・・・・・・・・・ 71
ヘッドホン／音声出力設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

その他の設定をする 72

アンテナを調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
電波の強さ（信号強度）を確認する・・・・・・・・・ 72
アンテナを調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
BS・110度CS用アンテナの電源供給の
設定を変更する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
アンテナ線がショートしたとき・・・・・・・・・・・・ 73
チャンネルを追加したり設定を変更したり
するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
地上デジタルチャンネルを自動で設定する・・・ 74
チャンネルをお好みに手動で設定する・・・・・ 75
視聴しないチャンネルをスキップする・・・・・ 76
チャンネル設定を最初の状態に戻すには・・・ 76
データ放送の設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
郵便番号と地域を設定する・・・・・・・・・・・・・・ 77
災害発生時に文字情報を表示させる・・・・・・・ 77
データ放送用メモリーの割当画面が表示
されたら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
お買い上げ時の設定に戻すには
（設定内容を初期化するには）・・・・・・・・・・ 79
視聴できる番組を制限する・・・・・・・・・・・・・・ 80
制限するために暗証番号を設定する・・・・・・・ 80
番組の視聴を制限する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

その他

ソフトウェアを更新する・・・・・・・・・・・・・・・・・81
ソフトウェアの更新機能について・・・・・・・・・・ 81
ソフトウェアの自動ダウンロードについて・81
ソフトウェアのバージョンを確認するには・81
お知らせを見る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
B-CASカード情報を確認する・・・・・・・・・・・・・・82
ライセンスおよび商標などについて・・・・・・83
対応フォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
本機で対応しているHDMI入力信号
フォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
アイコン一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
番組についてのアイコン・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
お知らせ、予約、その他についてのアイコン・・・ 84

本機で使われるソフトウェアの
ライセンス情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85
故障かも・・・と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・86
エラーメッセージが表示されたとき・・・・・・・・・・・93
ご使用上のお願いとご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・96
アフターサービスとお問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・97
製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98

この取扱説明書内のマークの見かた

お知らせ　機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

用語　用語の説明をしています。（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）

関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

お願い　取扱上のお願いを記載しています。

ご注意　取扱上のご注意を記載しています。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

🚫 禁止の行為であることを告げるものです。

❗ 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

異常・故障時について

⚠警告

❗ **異常・故障時はただちに使用を中止し、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。**

・内部に水・金属類・燃えやすいものなどが入った場合
・煙や焦げる臭い、異音などの異常が発生した場合
・落としたり、キャビネットを破損した場合
・電源が入ったり切れたりする場合

分解・改造について

⚠警告

❗ **お客様自身による分解・改造・修理はしないでください。**
内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因になります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。

本機の取り扱いについて

⚠警告

🚫 **液晶ディスプレイは精密機器ですので、強い力や荷重、衝撃を加えないでください。**
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になります。

🚫 **不安定な場所に置かないでください。**
倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

🚫 **本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。**
液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。

🚫 **異常に温度が高くなる所や、直射日光のあたる場所には置かないでください。**
火災の原因や、外装ケース・内部部品が劣化する原因になります。

🚫 **湿気やホコリの多い所、油煙や、湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください。**
火災・感電の原因になります。

🚫 **本機使用中は、風通しの悪い狭い所で使用したり、布・布団・保温材などで覆ったり包んだりしないでください。**
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

雷について

⚠警告

🚫 **雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れないでください。**
感電の原因になります。

安全上のご注意

本機の取り扱いについて

⚠ 注意

付属のスタンドを使用し、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください。
倒れてけがの原因になることがあります。

アンテナ工事が必要なときは、販売店または専門業者にご相談ください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

壁掛け設置工事は、販売店または専門業者にご相談ください。
落下してけがの原因になることがあります。

あお向けや、横倒し、さかさまにして使用しないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔をあけて備え付けてください。また、通気孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

お手入れについて

⚠ 注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
感電の原因になることがあります。

定期的に電源プラグのホコリを取り除いてください。
火災・故障の原因になることがあります。

定期的に通気口などに付着したホコリやごみを取り除いてください。
長期間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災・故障の原因になることがあります。内部の掃除が必要な場合はお買上げの販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。

長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。
電源プラグにホコリがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

電池について

⚠ 注意

電池の液がもれたときは素手でさわらないでください。
電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を負うおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症などの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や直射日光などの過激な熱にさらしたり、分解・改造しないでください。また、ショートさせないでください。
電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になることがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意し、本書（P13）のとおり正しくいれてください。
電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください。
電池の破裂・液もれにより、火災・けがの原因になることがあります。

移動について

⚠ 注意

移動させるときは、接続されている線などをすべて外してください。
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

守っていただきたいこと

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないよう注意してください。

ステッカーやテープを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因になることがあります。

乳幼児やペットがいるお客様は、転倒・感電・火傷・誤飲などに十分注意してください。

搬送について・・・
本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。

電波障害について・・・
本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉がおこり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このときは、機器を影響のない所まで本機から離してください。

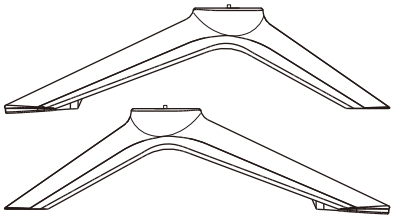
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用について・・・
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋（場所）でのご使用について・・・
ご使用になる部屋（場所）の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

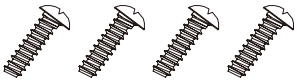
付属品

●本製品には以下の付属品が同梱されています。

●アンテナや外部機器などを接続するためのケーブルやコードは付属されておりません。



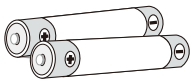
スタンド × 2 個



スタンド用ネジ × 4 本



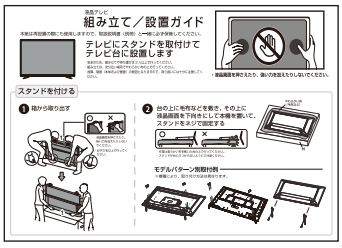
リモコン × 1 個



単 4 形乾電池 × 2 本
（動作確認用）



取扱説明書（本書）× 1 部



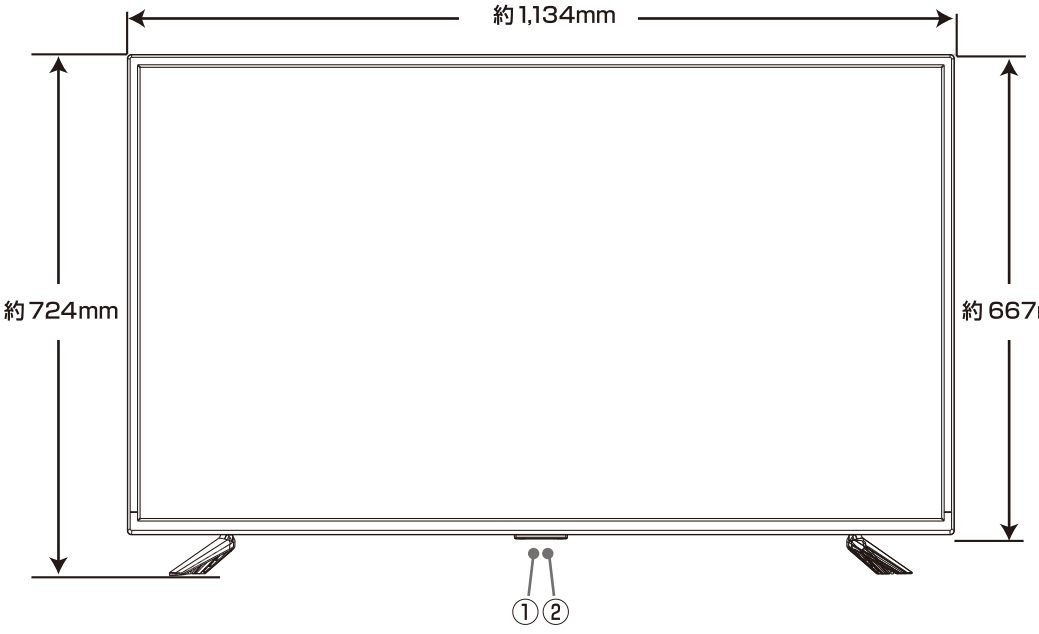
スタンド取付説明書 × 1 部



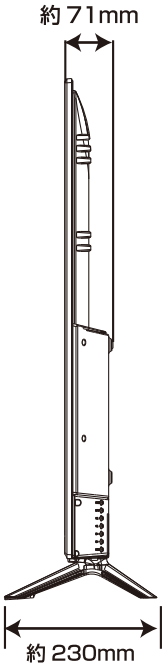
miniB-CAS カード × 1 枚

各部の説明

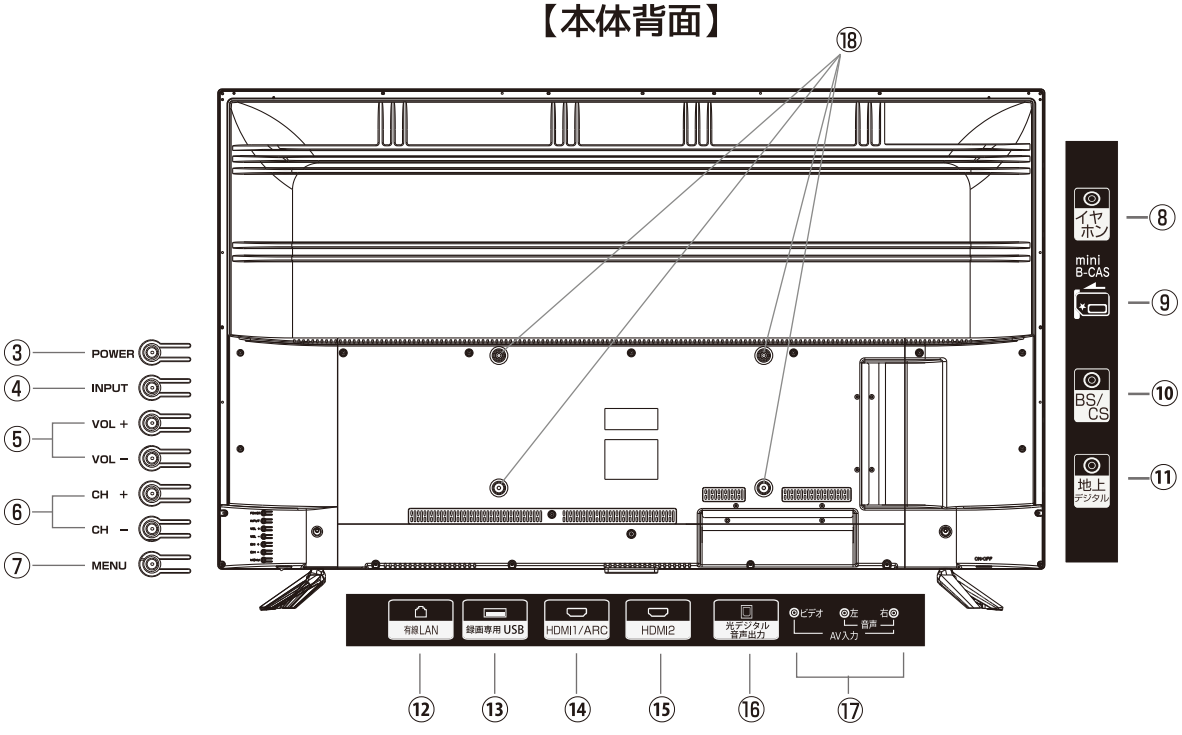
【本体前面】



【本体右側面】



【本体背面】



各部の説明

①電源表示ランプ

青色点灯：電源がオンのとき
赤色点灯：リモコンで電源をオフにしたとき（スタンバイ状態）
無点灯　：本体電源がオフのとき

②リモコン受光部

リモコンの信号を受信する部分です。
リモコンはこの部分へ向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。

③電源

電源のオン・オフに使用します。

④入力切換

ボタンを押すごとに、（現在ご視聴の放送）・HDMI1・HDMI2・ビデオの順で入力切換をおこないます。

⑤音量＋／音量ー

音量の調整に使用します。

⑥チャンネル＋／チャンネルー

チャンネル選択に使用します。

⑦放送切換

地上・BS・CSの放送を切り換えます。

⑧イヤホン出力端子

イヤホン／ヘッドホン（市販品）などを接続します。

⑨miniB-CAS カードスロット

切り欠きを左下の向きにして、「カチッ」と音がするまで奥に押し込みます。

⑩BS/CS アンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑪地デジアンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑫有線 LAN 端子

有線LANケーブル（市販品）を接続します。

⑬録画専用 USB

USBハードディスク（市販品）を接続します。

⑭HDMI1 入力端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。
※ARC対応

⑮HDMI2 端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。

⑯光デジタル音声出力端子

SPDIFケーブル(市販品)を接続します。

⑰AV 入力端子

AVケーブル（市販品）を接続します。

⑱壁掛け金具取付用ネジ穴 × 4

本製品は市販の壁掛け金具を使用して壁に取り付けることができます。

●VESA規格
MIS-F　400×200
※壁掛け金具の取り付けは必ず専門業者にご依頼ください。
※専門業者以外の人が取り付けて壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して打撲や大けがの原因となることがあります。

スタンドの組み立て方

⚠ 注意

■本体は大きく、重量があります。破損したりけがをすることがあるので二人以上で作業してください。
■画面を強く押さえたりしないでください。液晶パネルが割れることがあります。
■テレビ本体を横に寝かせて作業をしてください。
■毛布など厚手のやわらかい布を敷いた上でおこなってください。

プラスドライバー（市販品）をご用意ください。

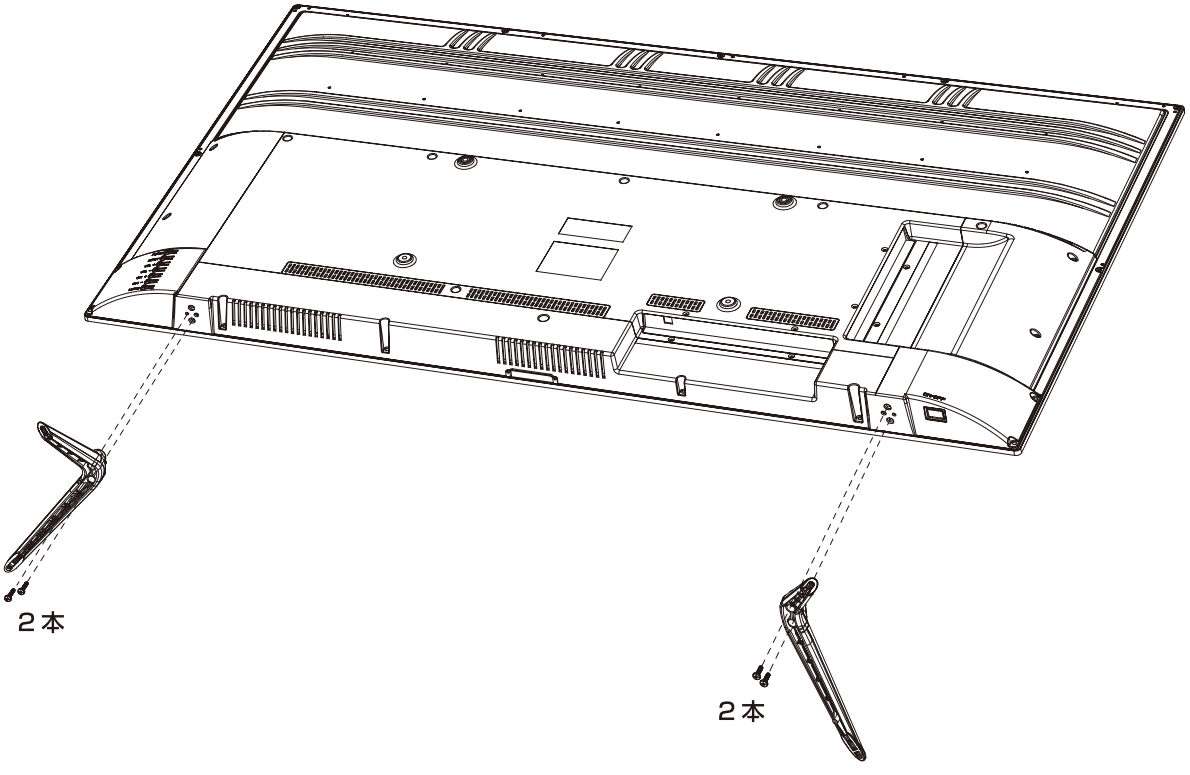
1 本体にスタンドを取り付けます。

本体とスタンドにはそれぞれ「R」と「L」の刻印があります。
画面に向かって右側が「R」、左側が「L」です。

2 スタンド裏側から左右２箇所をネジでとめます。

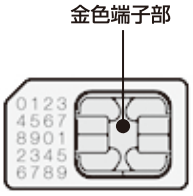
※ネジは付属品です。
※ゆるみのないようにしっかりと取り付けてください。

【本体底面】



B-CAS カードを挿入する

●miniB-CAS カードは取扱説明書などが入った袋に同梱されています。
●台紙（説明書）は裏面もよくお読みのうえ、大切に保管してください。
●miniB-CAS カードを抜き差しするときは、本機の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いたあとにおこなってください。
●金色端子部がよごれるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部にふれないようにご注意ください。

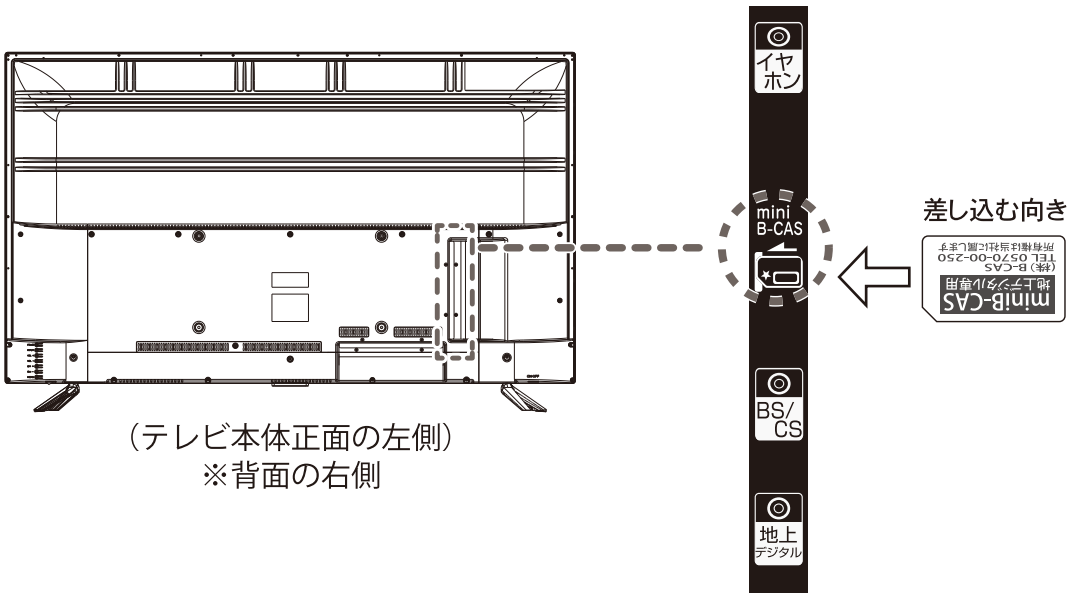


●乾いたきれいな手で取り扱ってください。
●金色端子部が指紋などでよごれてしまったときは、乾いたきれいな柔らかい布で拭き取ってください。

挿入の仕方

1 **miniB-CASロゴ印刷面を本体の背面側に向け、角が欠けた方から差し込む**

2 **「カチッ」と音が鳴るまで押し入れる**



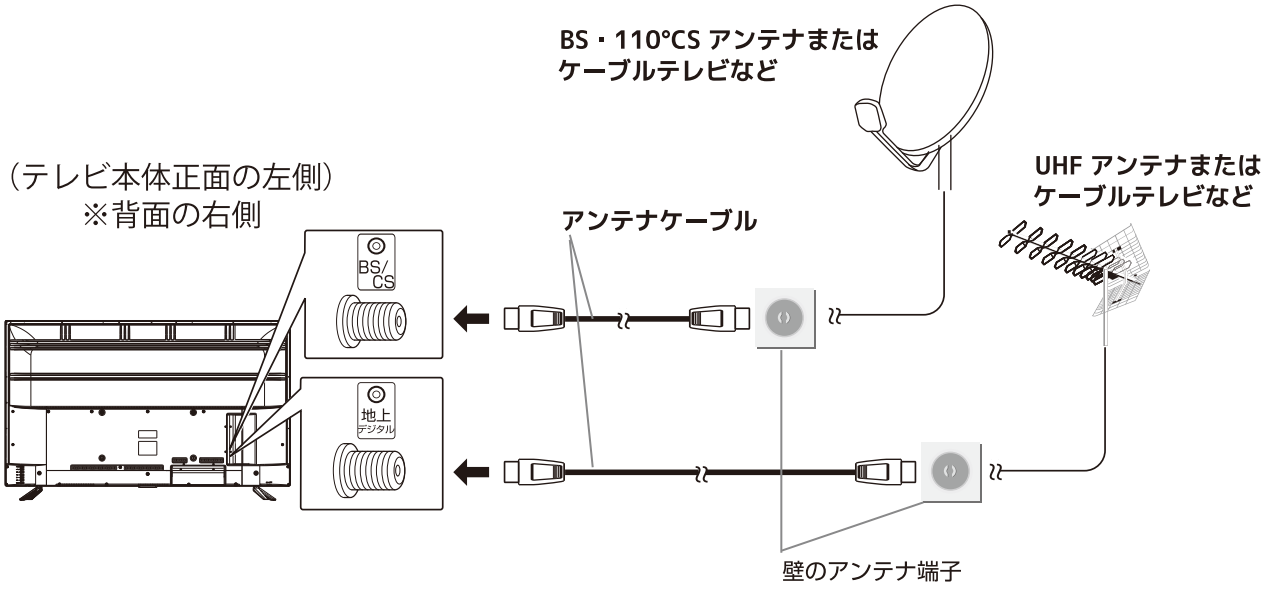
（テレビ本体正面の左側）
※背面の右側

アンテナと電源を接続する

⚠ 注意

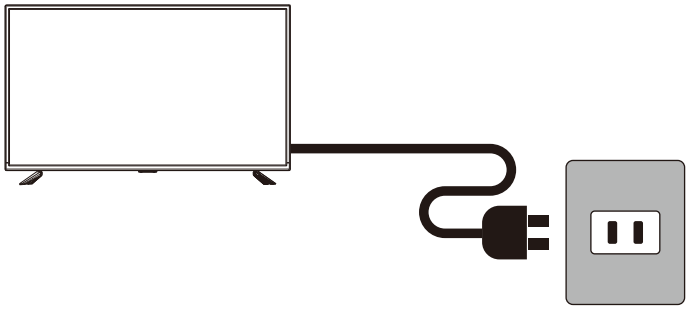
■設置・調整についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
■アンテナケーブルや混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。
■アンテナケーブルのピンが曲がっていると折れたり受信できなくなるため確認してください。
■アンテナケーブルは工具で強く締めずに緩まない程度に手で締めてください。
■接続の際はテレビ本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

アンテナケーブルのつなぎ方



※地上波および BS・CS 放送をご覧いただくには、それぞれに対応したアンテナをご用意いただくか、ケーブルテレビ事業者や光回線事業者と契約が必要です。

電源ケーブルのつなぎ方・電源の入れ方



AC100V　50/60Hz

●テレビ本体の電源プラグを壁などのコンセントに差し込みます。
●テレビ本体の正面右側面またはリモコンの［電源］ボタンを押します。
●リモコンの［電源］ボタンをもう一度押すと、待機状態になります。

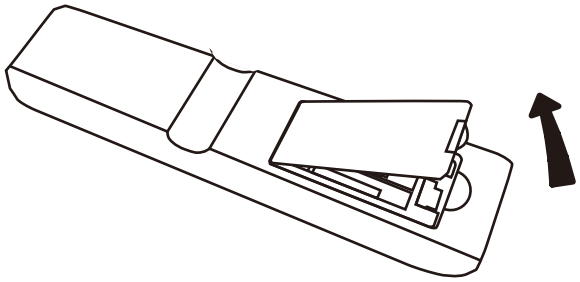
リモコンを準備する

乾電池を入れる

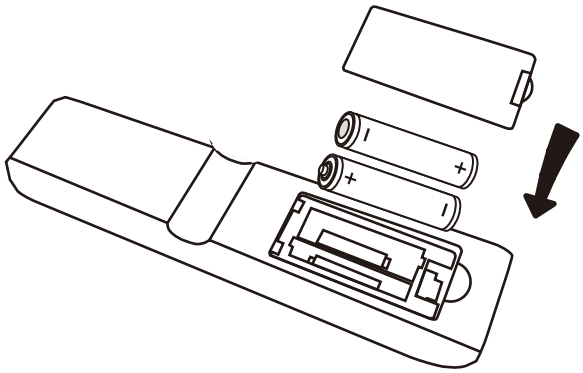
●リモコンには単 4 形乾電池 2 本が必要です。

●付属の単 4 形乾電池 2 本は動作確認用です。早めに新しい電池と交換されることをおすすめします。

1 リモコン裏側の電池フタのツメを押して上に引き上げてはずします



2 電池の向きに注意して電池を入れ、フタを閉めてご使用ください

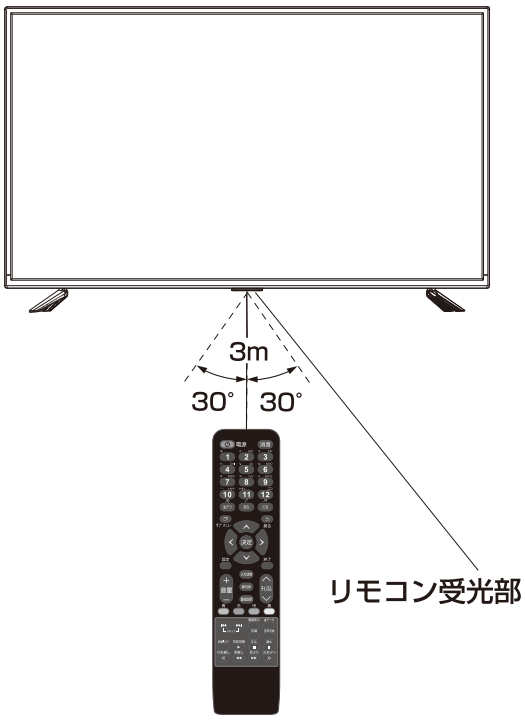


リモコンの使用範囲について

●リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。

●リモコン受光部に強い光を当てないでください。
強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

●リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
動作しなかったり、動作しにくくなったりします。



●リモコン受光部から
距離 ……3m以内
角度 ……左右30°以内、上下15°以内

お願い

乾電池について

●乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい電池と交換してください。

●使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則にしたがって廃棄してください。

ご注意

リモコンについて

●落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。

●水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

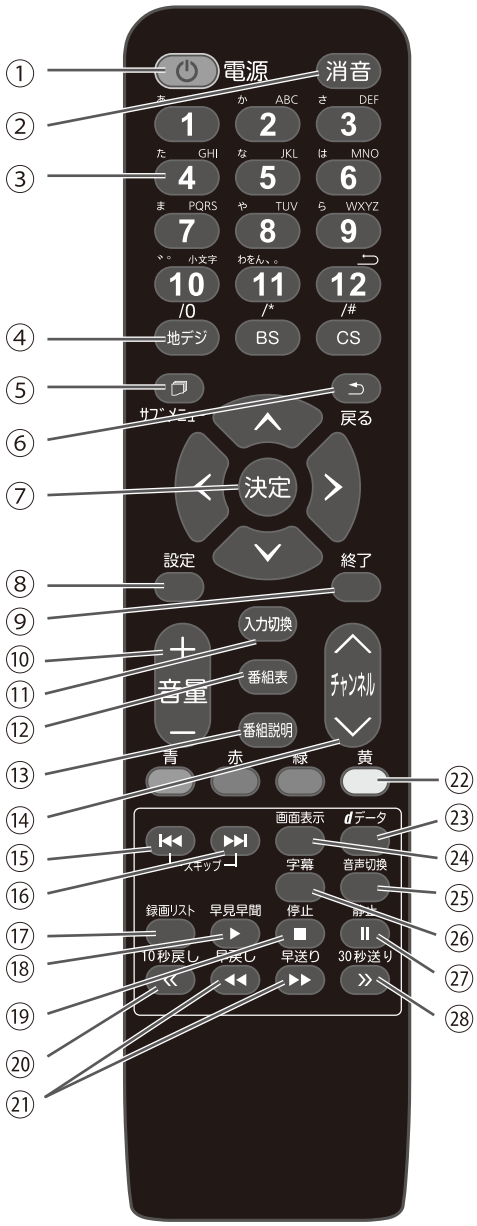
●分解しないでください。

●高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

リモコンの機能

●本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです。
●詳しくは 内のページをご覧ください。

①電源を入れる／待機する・・・・・・・・・・・・・12
②音を消す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
③チャンネルを選ぶ（ワンタッチ選局）・・・・・・16
　文字を入力する・・・・・・・・・・・・・・・・35
④放送の種類を切り換える・・・・・・・・・・・・16
⑤オフタイマーを使う・・・・・・・・・・・・・・34
　サブメニューを表示させる・・・・・・・・・・・19
⑥メニュー操作で一つ前の画面に戻る
⑦メニューから選ぶ、決定する
⑧設定メニューを表示させる
⑨操作を終了する
⑩音量を調節する・・・・・・・・・・・・・・・・・17
⑪外部入力（HDMI1～2、ビデオ入力）機器の
　画面に切り換える・・・・・・・・・・・・・・・28
⑫番組表で番組を選ぶ（見る、予約する）・・・・21
　録画をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
⑬番組名や放送局名、放送時間などを見る・・・・20
⑭チャンネルを選ぶ（順次選局）・・・・・・・・・16
⑮次のチャプターの先頭にスキップして再生・・・49
⑯現在のチャプターの先頭にスキップして再生・・49
⑰録画リストを表示させる（再生する）・・・・・48
⑱再生をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
⑲録画や再生を停止させる・・・・・・・・・・・49
⑳ワンタッチリプレイ（少し戻す）・・・・・・・49
㉑早送り、早戻し再生をする・・・・・・・・・・49
㉒カラーボタン・・・・・・・（多様な用途があります）
㉓連動データ放送を見る・・・・・・・・・・・・27
㉔視聴しているチャンネルや番組情報を見る・・・20
㉕音声を切り換える・・・・・・・・・・・・・・・31
㉖字幕を表示させる・・・・・・・・・・・・・・・17
㉗再生を一時停止させる・・・・・・・・・・・・49
　映像を静止させる・・・・・・・・・・・・・・・31
㉘ワンタッチスキップ（少し進む）・・・・・・・49



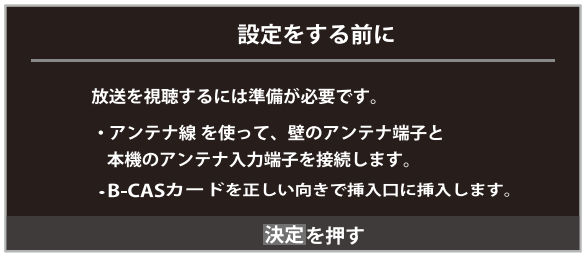
「はじめての設定」をする

「はじめての設定」について

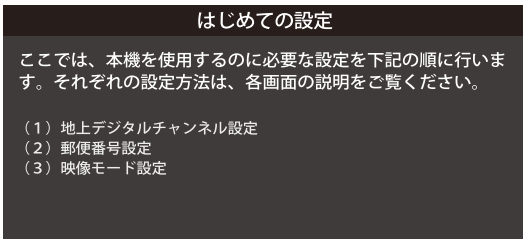
※ B-CASカードが正しく挿入されていないと「はじめての設定」ができません。あらかじめご確認ください。

※「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってから「はじめての設定」をやり直すとき 15 の操作で「はじめての設定」をやり直してください。

はじめて電源を入れたときに、「設定をする前に」画面が表示されます。内容をよくお読みになり、決定を押します。



「はじめての設定」の説明画面が表示されます。



画面の説明を読んだら決定を押します。

「はじめての設定」の流れ

● 本機を使用できるようにするための基本的な設定をします。

① 地上デジタルチャンネル設定
お住まいの地域情報を設定することで、地上デジタル放送の受信チャンネルが自動設定されます。

▼

② 郵便番号設定
郵便番号を設定することで、お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

▼

③ 映像モード設定
いくつか用意されている映像モードの中から選んで、お好みのメニューに設定します。

① 地上デジタルチャンネル～③映像モードの設定をする

● 画面の説明に従って以下の方法で設定していきます。

∧·∨·<·>で項目を選び、決定で決定して進んでいきます。

「郵便番号設定」では、1 ～ 10 (0) も使います。

「はじめての設定」をやり直すとき

● 「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「はじめての設定」をやり直すことができます。

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「初期設定」⇨「はじめての設定」の順に進む

● 「はじめての設定」の説明画面が表示されます。

2 画面の説明を読んで、決定を押す

● ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動でお好みに設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度手動設定をしてください。

● 県外への転居などで「はじめての設定」をやり直した場合は、データ放送用メモリーの割当画面が表示されることがあります。その場合は、「データ放送用メモリーの割当画面が表示されたら」78 を参照して設定してください。

● データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後にデータ放送を選局し直してください。

お知らせ

■「地上デジタルチャンネル設定」について

● 「はじめての設定」または「初期スキャン」68 をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを本機が探し、リモコンの 1 ～ 12 に自動設定します。（「はじめての設定」または「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません）

■ 地方と地域の設定について

● チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。

● チャンネル設定の地域は必ずしもお住まいの地域とは限らないため、地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

テレビ番組を楽しむ



リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CS で放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

- 以下の3とおりの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

- ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 で選局します。（下の「お知らせ」をご覧ください）
- BSデジタル放送のワンタッチ選局には、2種類あります。
  - 通常はグループA（BS101（NHKBS1）～BS222（TwellV））のワンタッチ選局になります。
  - グループB（BS231（放送大学BS1）~BS256（ディズニー・チャンネル））の放送局をワンタッチ選局する場合は、手順1でBSデジタル放送を選んだあと BS を押し、選局ガイドを表示している状態で、1 ～ 12 ボタンを押します。（選局ガイド表示中は BS を押すたびに、選局ガイド表示が切り換わります）

チャンネル ∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

- チャンネル でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する（ダイレクト選局）

- チャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ サブメニュー を押し、∧·∨と 決定 で「その他の操作」⇨「チャンネル番号入力」と進む

- 視聴中の放送の種類に応じて、画面の右上に 地デジ−−− 、BS−−− 、CS−−− のどれかが表示されます。

❷ 1 ～ 10 /0 でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨ 1 10 /0 3 の順に押します。（「0」は 10 /0 で入力）

- 入力した番号を消すには、◀を押します。
- 11 /* を使った入力ができます。 例 3 11 /* →300番台の最小チャンネル

■ 枝番のついた放送一覧が表示されたとき

- ▲·▼で選んで 決定 を押すか、10 /0 ～ 9 で枝番を指定して選びます。



お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表 21 で確認することができます。
- 1 ～ 12 でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。（「チャンネルをお好みに手動で設定する」 75 で変更できます）
  - 地デジ を押したとき→「はじめての設定」 15 で各ボタンに登録されたチャンネル
  - BS を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル
  - CS を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル（ 1 と 2 のみ）
  - ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「視聴できる番組を制限する」 80 をご覧ください。



音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ リモコンの 音量＋／− を押す

音を一時的に消す

❶ リモコンの 消音 を押す

- 画面右下に 消音 が表示されます。もう一度 消音 を押せば音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

❶ リモコンの 字幕 を押す。あるいは サブメニュー を押し、∧·∨ と 決定 で「字幕」を選ぶ

❷ ∧·∨ で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、決定 を押す

テレビ番組を楽しむ つづき

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる（または使用する）リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン（青、赤、緑、黄）や サブメニュー に割り当てられています。

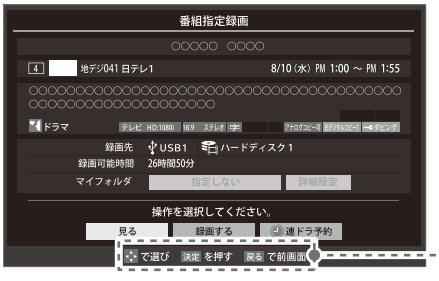
例 録画リスト

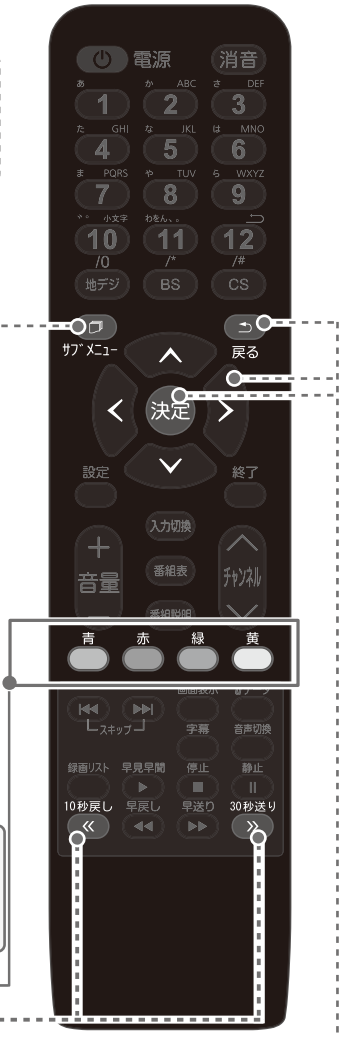


例 番組表



例 操作画面





サブメニュー の表示
サブメニューがあることを示します。

青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

« » の表示
ページやリストの切り換えができることを示します。

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。

サブメニューについて

- サブ ﾒﾆｭｰ を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、サブ ﾒﾆｭｰ を押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、入力の種類や外部機器の有無、あるいはテレビの動作状態によって変わります。
  選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

サブメニュー	機　能　（一部省略しています）	詳細記載ページ
番組説明	視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。	20
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。	43
予約リスト	予約リストを表示させることができます。	46
時計	時計表示やアラームの設定、オフタイマーの設定ができます。	33
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	17
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	29
スピーカー切換	テレビのスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。	33
その他の操作		

その他の操作		
信号切換		
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。	16
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。	72
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	27
ﾃﾚﾋﾞ/ﾗｼﾞｵ/ﾃﾞｰﾀ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	27
親切ヘッドホン音量	親切モードでのヘッドホンの音量を調節することができます。	32
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。	82
ソフトウェアバージョン	本機のソフトウェアバージョンを確認します。	81

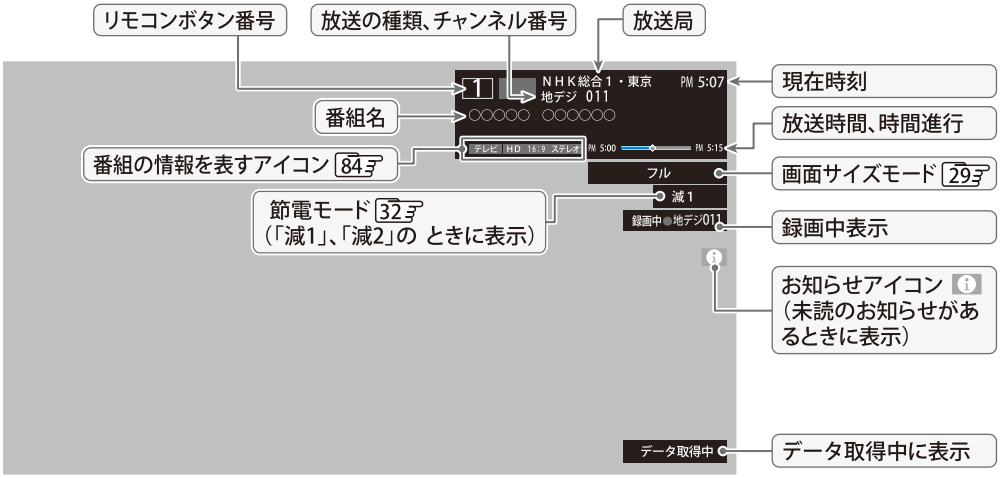
信号切換		
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	31
音声信号切換	一つの番組で複数の音声が送られている場合に切り換えられます。	31
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	31
データ信号切換	一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り換えられます。	31
降雨対応放送切換	豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	30

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(チャンネル以外の表示は数秒後に消えます)
- 表示を消すには、もう一度 画面表示 を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



番組説明を見る

1 番組説明 を押す、あるいは サブメニュー を押し、∧·∨で「番組説明」を選び、決定 を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは ∨ を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
  - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
  - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン(ステレオ、HD:1080i などの記号)についての説明は、「アイコン一覧」84 をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。通常番組表が表示されます。（「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」22 をご覧ください）
- 放送の種類を変えるときは、地デジ 、BS 、CS を押します。
- 独立データ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「テレビ／ラジオ／データ切換」で選びます。
- 番組表を消すときは、終了 を押します。

2 番組を ∧·∨·<·> で選ぶ

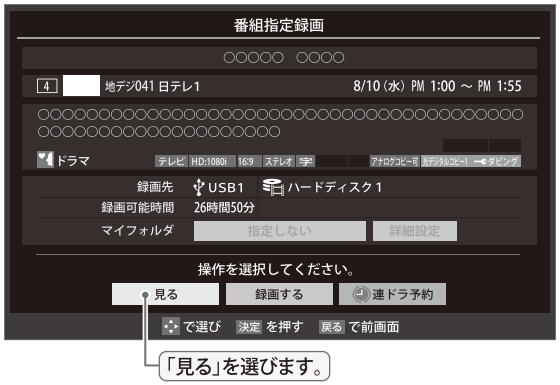
- 選んだ番組の番組説明を見るには、リモコンのサブメニュー 番組説明 を押す、あるいはサブメニュー を押し、∧·∨ で「番組説明」を選び決定を押します。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには <·> または 10秒戻し « ・ 30秒送り » を押します。

3 決定 を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。42 の手順3 をご覧ください。

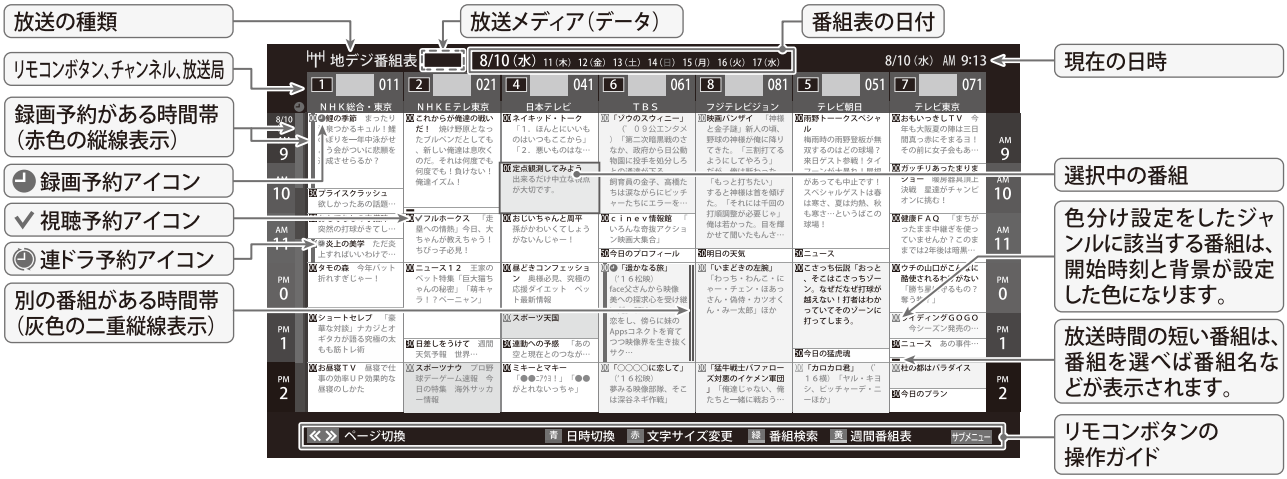
4 現在放送中の番組を見るときは、∧·∨·<·> で「見る」を選び、決定 を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



- 「番組指定録画」画面からは、録画 41 、連ドラ予約 43 の操作ができます。
- 「番組指定予約」画面からは、視聴予約 42 、録画予約 42 、連ドラ予約 43 の設定ができます。

［通常番組表画面：7チャンネル表示の例］



お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」22 の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」76 で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

番組表で番組を探す つづき

視聴制限番組について

- 手順4 で視聴制限番組を選んだ場合、「見る」、「録画する」、「連ドラ予約」を選択して 決定 を押すと、メッセージが表示されます。<・> を押して「はい」を選び、決定 を押すと暗証番号入力画面が表示されます。1 ～ 10/0 で暗証番号を入力すると、番組表の視聴制限が一時解除されます。
  「いいえ」を選んだときは、前の画面に戻ります。

※ 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」80 をご覧ください。

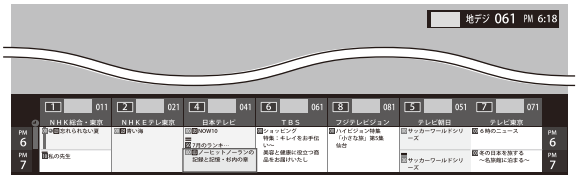
※ 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」24 をご覧ください。

番組を見ながら他の番組を探す（ミニ番組表）

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

1 番組表を表示中に 番組表 を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- もう一度押すと、ミニ番組表が消えます。
- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。（ミニ番組表では一部の機能を使用できません）

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 青 （日時切換）を押す

2 ∧·∨·<·> で日時を選び、決定 を押す



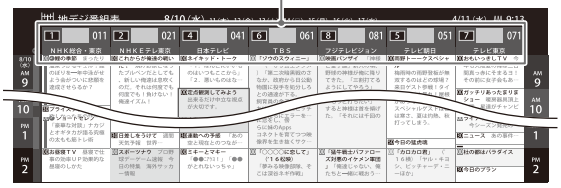
- 選んだ時間帯の番組表が表示されます。

週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

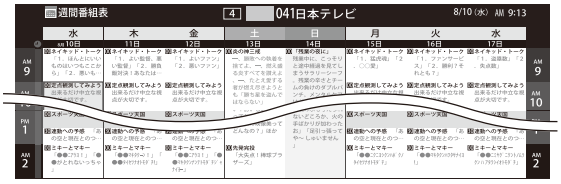
1 <·>で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、黄 （週間番組表）を押す

一週間分の番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



［通常番組表］

黄 を押すたびに切り換わります



［週間番組表］

- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」23 に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨ で「番組説明」を選び 決定 を押します。

- 番組説明が表示されます。

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 サブメニュー を押し、∧·∨ で「番組情報の取得」を選んで 決定 を押す

番組情報の取得中に表示されます。



※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。

※ 番組録画中は、番組情報の取得ができません。

◇ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます。
(地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます)

お知らせ

- 番組表の操作ガイドに表示される 緑 （番組検索）については、「条件を絞りこんで番組を探す」25 をご覧ください。
- 番組情報の取得を行う場合に黒画面になります

番組表で番組を探す

- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に サブメニュー を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- ＢＳデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送だけ）では、放送業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切り換えができます。

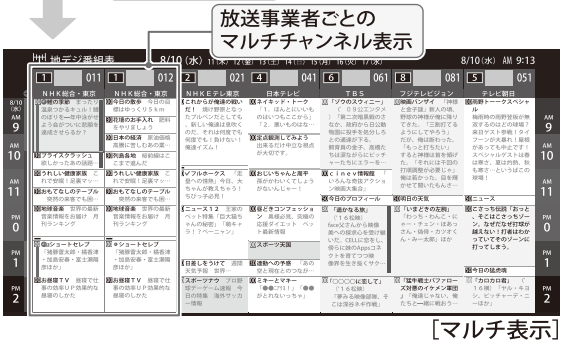
1 切り換える放送局の番組をどれか選び、サブメニュー を押す

2 ∧·∨ で「1チャンネル表示」（または「マルチ表示」）を選び、決定 を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。



［1チャンネル表示］



［マルチ表示］

- 「マルチ表示」での番組予約について、42ページ をご覧ください。

用語

■（放送の）ネットワーク
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 赤 を押して文字の大きさを切り換える

- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。文字の大きさに合わせて、表示する時間の範囲も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル（分野）別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨ で「ジャンル色分け」を選んで 決定 を押す

2 設定する色を∧·∨ で選び、決定 を押す



3 ∧·∨·<·> でジャンルを選び、決定 を押す

- 決定 を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。



4 ∧·∨ で「設定完了」を選び、決定 を押す

番組記号の説明を見る

- 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨ で「番組記号一覧」を選んで 決定 を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定 を押します。

番組表で番組を探す つづき

表示させるチャンネル数を設定する

● 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、∧∨と 決定 で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数」の順に進む

2 ∧∨で表示させるチャンネル数を選び、決定 を押す

チャンネルの並び順を設定する

● 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、∧∨と 決定 で「番組表表示設定」⇨「チャンネル並び順」の順に進む

2 ∧∨で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- 通常…… 放送局推奨の並び順になります。
- チャンネルボタン優先…ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 サブメニュー を押し、∧∨と 決定 で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示」の順に進む

2 ∧∨で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 サブメニュー を押し、∧∨と 決定 で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示」の順に進む

2 ∧∨で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- 視聴チャンネル中央表示…視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示…お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

● 番組表に表示させる放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）を選びます。

● 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 サブメニュー を押し、∧∨で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで 決定 を押す

2 ∧∨で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで 決定 を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 番組表で、視聴制限番組を選ぶ

2 サブメニュー を押し、∧∨で「視聴制限一時解除」を選んで 決定 を押す

● 暗証番号入力画面が表示されます。

※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

3 1 ～ 10 /0 で暗証番号を入力する

● 番組表の視聴制限が一時解除されます。

用語

■ 放送メディア
デジタル放送の媒体（テレビ放送、データ放送）をさします。

条件を絞りこんで番組を探す

● 番組のジャンル（分野）やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

1 番組表 を押す

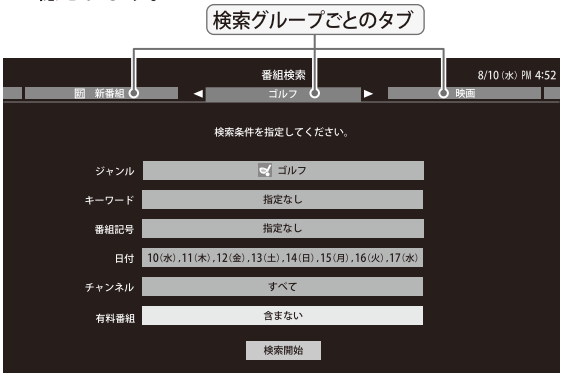
● 番組表が表示されます。

2 緑 （番組検索）を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを〈・〉で選ぶ

● 以降の手順で指定する検索条件のうち、「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」は検索グループごとに記憶されます。



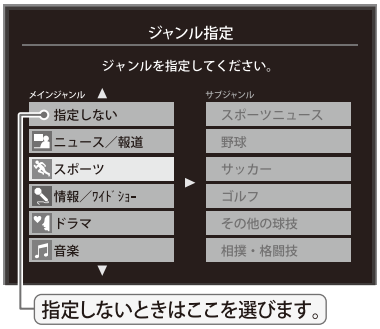
4 検索条件を指定する

● 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

❶ ∧・∨ で「ジャンル」を選び、決定 を押す

❷ 指定するジャンルを ∧・∨・〈・〉で一つ選び、決定 を押す

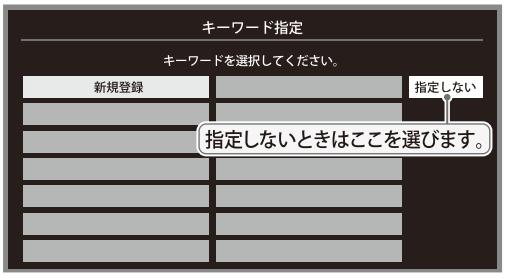


「キーワード」を指定するとき

❶ ∧・∨ で「キーワード」を選び、決定 を押す

❷ 指定するキーワードを ∧・∨・〈・〉で選び、決定 を押す

● お買い上げ時は登録されていません。



■新しいキーワードを登録する場合

① ∧・∨・〈・〉で「新規登録」を選び、決定 を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して、決定 を押す

● 文字入力のしかたは、「文字を入力する」35 をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを ∧・∨・〈・〉で選び、青 を押す

② キーワードを編集し、決定 を押す

■キーワードを削除する場合

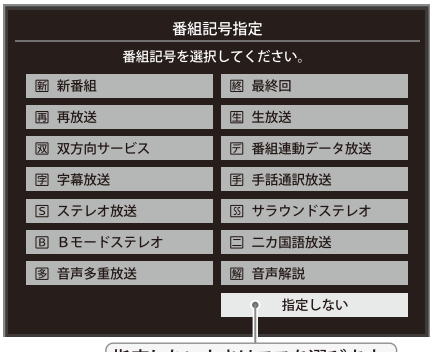
① 削除するキーワードを ∧・∨・〈・〉で選び、赤 を押す

② 〈・〉で「はい」を選び、決定 を押す

「番組記号」を指定するとき

❶ ∧・∨ で「番組記号」を選び、決定 を押す

❷ 指定する番組記号を ∧・∨・〈・〉で選び、決定 を押す



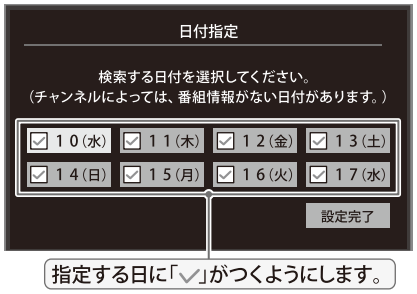
条件を絞りこんで番組を探す

「日付」を指定するとき

❶∧·∨で「日付」を選び、決定を押す

❷指定する日付を∧·∨·〈·〉で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑(指定する)と☐(指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

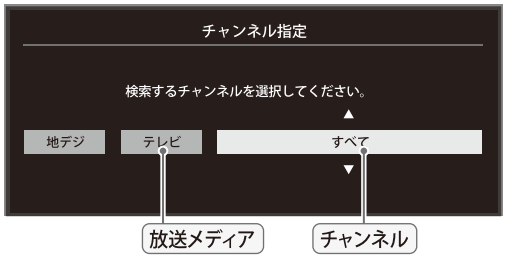


❸指定が終わったら、∧·∨·〈·〉で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

❶∧·∨で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷指定する項目を〈·〉で選び、∧·∨で内容を選ぶ



- 放送の種類……すべて／BS／CS／地デジ
- 放送メディア……すべて／テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- チャンネル……指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸指定が終わったら、決定を押す

「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。

❶∧·∨で「有料番組」を選び、決定を押す

❷∧·∨で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、決定を押す

5 ∧·∨で「検索開始」を選び、決定を押す

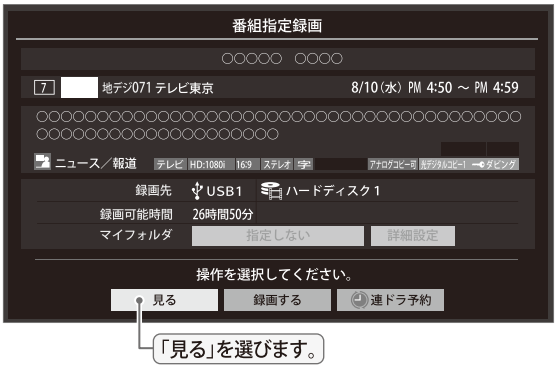
- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を∧·∨で選んで決定を押す



- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。42ページの手順3をご覧ください。

7 ∧·∨·〈·〉で「見る」を選び、決定を押す



- 選んだ番組の放送画面になります。

お知らせ

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 「チャンネルスキップ設定」76ページで、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。（本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません）
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

非リンク型サービス	放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。（文字表示は数秒で消えます）
暗号通信	本機はSSL（Secure Sockets Layer）等の暗号通信に対応しています。そのサービスの際に、このアイコンが表示されます。

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 dデータ を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、サブメニュー を押し、∧·∨と決定で「その他の操作」⇨「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、BS を押します。

2 サブメニュー を押し、∧·∨と決定で「その他の操作」⇨「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む

3 ∧·∨で「データ」または「ラジオ」を選び、決定を押す

- チャンネル で他のチャンネルに切り換えられます。
  チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、dデータ は「データボタン」、「データ放送ボタン」等と表示される場合があります。
- データ放送は録画できません。
- 双方向サービスについて
  - 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定（65 ～67 ）をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
  - 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
  - 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
  - テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

外部入力の画面に切り換える

- 本機の外部入力端子（HDMI入力１～２、ビデオ入力）に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー /レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」57 ～ 60 をご覧ください。



1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

- 入力切換 を押すと次の入力が選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順3 の操作をします。
  - 「外部入力スキップ設定」60 が「する」になっているときは、機器が接続されていない入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。

3 入力切換 を繰り返し押すか、または ∧·∨ を押して入力を選ぶ

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

  放送 → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ

  - ∧·∨ では順方向・逆方向の選択ができます。

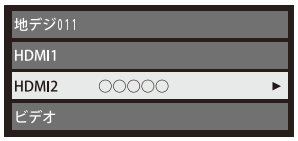
- 少し待つと選択した入力に切り換わります。

HDMI連動機器を選ぶとき

- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。使用する機器を以下の手順で選択できます。

入力切換 または ∧·∨ で選ぶ

例



▶を押す

∧·∨ で選んで 決定 を押す

例



4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。

HDMI連動機器を選んだとき

- サブメニューの「機器操作」を選んで、機器操作メニューを表示させます。

❶ サブメニュー を押す

❷ ∧·∨ で「機器操作」を選び、決定 を押す

- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューについては、「本機のリモコンで対応機器を操作する」63 をご覧ください。

- ゲーム機を接続した入力では、「映像モード」68 を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

お知らせ

- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」60 をご覧ください。

便利な機能を使う

画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 信号フォーマットについては、「本機で対応している HDMI入力信号フォーマット」83 をご覧ください。

放送番組やビデオ入力端子からの映像を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4：3の映像（480p、480i）、映像入力端子	ワイド、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル
デジタル放送の16：9の映像	ワイド、ズーム、フル • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入／切で「フル」に戻ります。

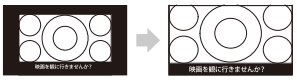
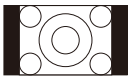
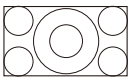
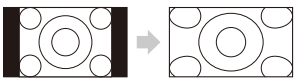
HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i 、480p	ワイド、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル、 Dot By Dot
VGA 、SVGA、 XGA、 SXGA、 720p、1080i 、1080p 、WXGA	ワイド、ズーム、フル、ノーマル、 Dot By Dot

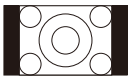
映像モードを「ゲーム」にしているとき

入力端子	選択できる画面サイズ
ビデオ入力端子	ゲームフル、ゲームノーマル
HDMI入力端子	ゲームフル、ゲームノーマル、 Dot By Dot

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
4:3	ワイド	※1 	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム	※1 	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1 	DV Dソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	ワイド ※2	※3 	左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム ※2	※3 	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。

便利な機能を使う つづき

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
ゲーム	ゲームフル	※4 	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示するモードです。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。（図は4:3の例です）
HDMI	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。

お知らせ

- WXGAパネルのテレビでは、HDMI入力端子で1080i／1080p／SXGAフォーマットの映像を見ているときに「Dot By Dot」は選択できません。また、HDMI入力端子でXGA／WXGAフォーマットの映像を見ているときに「ノーマル」（「ゲームノーマル」）は選択できません。
- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- 4:3 の映像を「ワイド」などを利用して画面いっぱいに表示させると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」（16：9映像の場合は「フル」）でご覧になれます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面サイズを切り換える

- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨ で「画面サイズ切換」を選び、決定 を押す

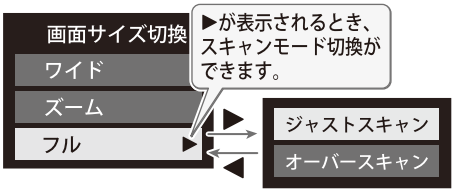
2 お好みの画面サイズを ∧·∨ で選び、決定 を押す

- 画面の見えかたについては前ページをご覧ください。

▶が表示されるとき

- 決定 を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

❶ ▶を押し、お好みのモードを ∧·∨ で選ぶ



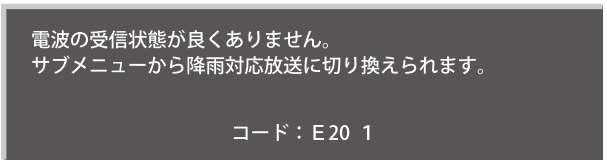
- ジャストスキャン…… 16: 9の映像が画面内におさまるように表示させます。
- オーバースキャン…… 16: 9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。



1 サブメニュー を押し、∧·∨ と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ∧·∨ で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声・データを切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組情報画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 主音声 → 副音声 → 主：副 →

- サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組情報画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 音声1 → 音声2 → 音声3… →

- サブメニューの「音声信号切換」（次の説明）でも音声の切り換えができます。

映像、音声、データを切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を∧·∨で選び、決定 を押す

- 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

信号切換
映像信号切換
音声信号切換
音多切換
データ信号切換
降雨対応放送切換

3 視聴したい映像、音声、データを∧·∨で選び、決定 を押す

- 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、音声切換 で選択する機能と同じです。

お知らせ

■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
  ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 静止 を押す

- 映像が静止します。
- 解除するときは、もう一度 静止 を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除される場合があります。

便利な機能を使う つづき

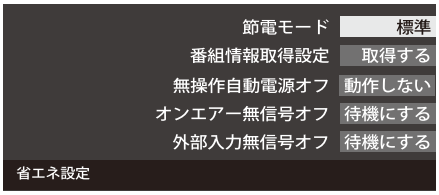
省エネ設定をする

● 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 設定 を押し、∧·∨ と 決定 で「機能設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

● 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を∧·∨で選び、決定 を押す



3 お好みの設定を∧·∨で選び、決定 を押す

● 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

● 液晶画面のバックライトの明るさを抑えることでテレビの節電ができます。

● 「減1」、「減 2」に切り換えた場合、画面の明るさに適した画質に自動調整されます。(「 映像モード」 68 が「ライブ」 、「映画」の場合、画質は変わりません)

- 標準…… 標準の明るさです。
- 減1 …… 画面の明るさを抑えて、節電します。
- 減2 …… 画面の明るさを「減1」よりも抑えて、さらに節電します。

番組情報取得設定

● 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。

- 取得する… 電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- 取得しない… 番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりする場合があります。

無操作自動電源オフ

- 待機にする… テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- 動作しない… テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエアー無信号オフ

- 待機にする… 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- 動作しない… 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

※外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

- 待機にする… 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- 動作しない… 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

ヘッドホンで聴く

● ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。

● ヘッドホンモードには「通常モード」と「親切モード」があります。お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。

※ ヘッドホンモードの設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」 71 をご覧ください。

1 設定 を押し、∧·∨ と 決定 で「音声設定」⇨「ヘッドホン／音声出力設定」⇨「ヘッドホンモード」の順に進む

- 通常モード…… ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。
- 親切モード…… ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。

● 親切モードのとき、スピーカーの音量は +音量− で調整します。

ご注意

● ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン／音声出力設定」の「出力設定」を「ヘッドホン」 71 にしてください。

ヘッドホンの音量調節のしかた

● 「通常モード」に設定しているときは、 +音量− で調節します。

● 「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているときは、以下の手順で調節します。

❶ サブメニュー を押し、∧·∨ と 決定 で「その他の設定」⇨「親切ヘッドホン音量」の順に進む

● ヘッドホンを接続していないときは、選択できません。

❷ <·> で音量を調節する

● +音量− でも調節できます。

外部スピーカーで聴く

● ヘッドホン／音声出力端子に音声出力機器を接続して聴くときの音の出かたを設定します。

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「スピーカー切換」を選び、決定 を押す

2 ∧·∨で「外部スピーカー」を選んで決定を押す

● テレビのスピーカーからは音は出ません。

● 「外部スピーカー出力設定」が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節します。「可変」の場合は、本機のリモコンで音量が変化します。

※「外部スピーカー出力設定」の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」71 をご覧ください。

時計を表示する

● 画面に時計を表示させます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「時計」⇨「時計表示」の順に進む

2 ∧·∨で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 「オフ」を選ぶと時計を消します。

アラームを使う

● 設定した時刻にアラームでお知らせすることができます。本機の電源「待機」のときは、電源が「入」になります。

1 サブメニュー を押し、∧·∨と決定で「時計」⇨「アラーム設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

アラーム

❶ ∧·∨で「アラーム」を選び、決定を押す

❷ ∧·∨で「オン」を選び、決定を押す

● アラームを使用しないときは、「オフ」を選びます。

● アラーム設定画面を表示中は、青 を押すたびに「アラーム」の「オン」と「オフ」を切り換えることができます。

日時

● アラームでお知らせする日時を設定します。

❶ ∧·∨で「日時」を選び、決定を押す

❷ 設定する項目を〈·〉で選び、∧·∨で日時を選ぶ

● 曜日は「毎日」、「１回」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

サウンド

● アラームでお知らせするときの効果音を設定します。

❶ ∧·∨で「サウンド」を選び、決定を押す

❷ ∧·∨でお好みの音を選ぶ

● 黄 を押すと、選んだ音を聴いて確認することができます。

※ テレビの状態によっては、「再生できません」が表示され、効果音の確認ができない場合があります。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

音量

● アラームでお知らせするときの音量を設定します。

❶ ∧·∨で「音量」を選び、決定を押す

❷ ∧·∨でお好みの音量を選ぶ

● 黄 を押すと、選んだ音量を聴くことができます。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

便利な機能を使う つづき

チャンネル

● アラームでお知らせした後に、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ∧·∨ で「チャンネル」を選び、決定 を押す

❷ 設定する項目を <·> で選び、∧·∨で内容を選ぶ

- 放送の種類 ……ラストチャンネル／地デジ／BS／CS
  ※ ラストチャンネルは、アラームでお知らせする前に見ていたチャンネルです。
  電源「待機」のときは、電源を切る前に見ていたチャンネルになります。
- チャンネル……設定した放送の種類に該当するチャンネル

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

アラームの動作について

● アラームで設定した時刻になると次のように動作します。

設定した「音量」、「サウンド」でアラームが鳴り、アラーム停止画面が表示される

● 電源が「待機」のときは、電源が「入」になります。

● <·> で「停止」を選んで 決定 を押すと、アラームを停止します。

● <·> で「スヌーズ」を選んで 決定 を押すと、アラームを一度停止し、スヌーズ動作になります。

スヌーズ動作：
5分後、再度アラームが鳴り、アラーム停止画面が表示されます。
アラームを停止するときは、アラーム停止画面で「停止」を選びます。
スヌーズ中は、終了 を押してスヌーズ解除画面を表示させ、「はい」を選んで 決定 を押します。

スヌーズで無音状態中に音量の操作をすると、アラームの音量も操作した音量になります。

※ アラームを停止しないと：
「サウンド」で選んだ音が5 分後に停止し、無音状態になります。さらに5分経過すると、再度選んだ音が鳴ります。
アラームを停止するまで上記動作を繰り返します。(「無操作自動電源オフ」32 の設定に従います)
※ アラームで電源がはいったときは、上記を繰り返し、操作をせずに1時間が経過すると、自動的に電源が「待機」になります。

アラームを一時的に解除する

● アラームの設定を残したまま、一時的に解除することができます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨ と 決定 で「時計」⇨「アラーム設定」の順に進む

2 ∧·∨ で「オフ」を選び、決定 を押す
● 「オン」を選ぶと、アラームが再開されます。

オフタイマーを使う

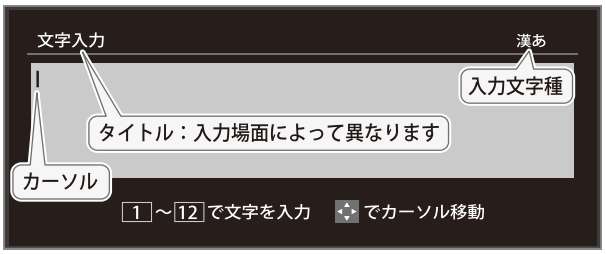
● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 サブメニュー を押し、∧·∨ と 決定 で「時計」⇨「オフタイマー設定」の順に進む
● すでにオフタイマーが設定されているときは、「オフタイマー設定」に電源が切れるまでの時間も表示されます。

2 ∧·∨ で、電源を「待機」にするまでの時間を選んで 決定 を押す
● オフタイマーが動作して、あと1分になると画面にメッセージが表示されます。

文字を入力する

● 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 1 ～ 12 で文字を入力する

● 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。
入力例：がっこう

➡ 2 、10 /0 、4 (6回)、2 (5回)、1 (3回)
が　っ　こ　う

「っ」の別の入力方法 ➡ 4 (3回)、10 /0 (2回)
っ

● 文字に続けて 10 /0 を押せば、濁点(゛)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に ＞ を押します。
入力例：あい ➡ 1 、＞、1 (2回)
あ　い

● 入力文字の種類を変えるときは、青 (文字切換)を押します

● 文字を挿入するには、挿入する場所を ∧・∨・＜・＞ で選んで入力します。

● スペースを入力するときは、緑 を押します。

文字を削除するには

● 1文字を削除するには、赤 を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字 が削除されます。

● 文字をまとめて削除するには、赤 を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

● 漢字に変換しないときは、決定 を押す

● 漢字に変換するときは、∨ を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら 決定 を押す
- 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を ＜・＞ で変え、∧・∨ で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、決定 を押す

● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「ａＡ」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「１２」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

● 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →っ	タ→チ→ツ→テ→ト →ッ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10 /0	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11 /*	わ→を→ん→わ→、→。 →ー	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。 →ー	※1	*
12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

● 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→@
半角英字の場合……. → / → : → - → _ → ~ → @

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

お知らせ

● 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景／未確定の文字：白色背景／漢字変換候補選択中の文字：黒色背景／確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に 戻る を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

● 本機背面のUSB（録画専用）端子に接続したUSBハードディスク にデジタルテレビ放送番組を録画できます。
（データ放送、外部入力（HDMI1 ～ 2、ビデオ入力）で視聴している動画の映像・音声は録画できません）
・ USBハードディスクの接続は次ページをご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク（注）	・ USBハードディスクの電源を入れておきます。 ・ USBハードディスクの残量を確認します。 53 ・「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。 48 ※ 残量不足や番組数超過（3000を超過）になりそうな場合は、不要な番組を削除します。 52

（注） USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

● 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、38 を参照し、登録してください。
● USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

● USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」52 が「削除しない」に設定されています。

ご注意

● USBハードディスクについて
USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。
本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

● USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません。（「録画番組を修復する」50 の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります）
● 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
● 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
● 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

録画用USBハードディスクの接続をする

● 本機に接続したUSBハードディスクで以下のことができます。

できること	記載ページ
本機で受信したテレビ放送番組の録画、録画予約	41
録画番組の再生、ムーブ	48 56

ご注意

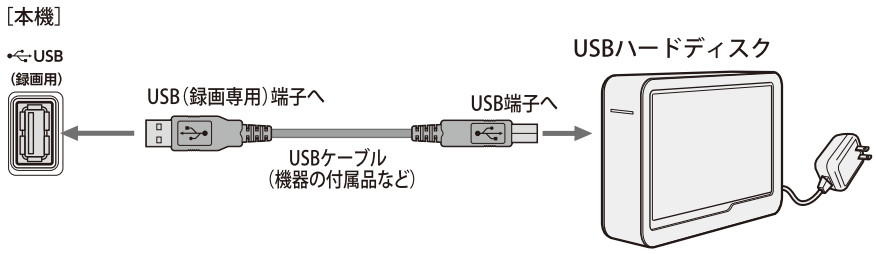
● パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
● 本機で使用していたUSB ハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
● 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、 未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」39 の手順で「機器の取りはずし」の操作をしてください。
● USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。

USBハードディスクを接続する

● USBハードディスクやUSBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

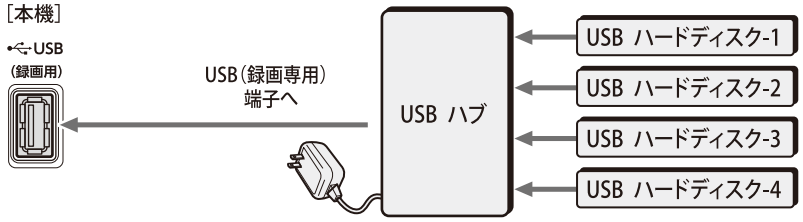
USBハードディスクが1台のとき

● USBハードディスクは、USB （録画専用）端子に接続します。



USBハードディスクが複数のとき

● USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。
※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



お願い

● 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。
USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
● 登録の手順については、次ページの「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。

お知らせ

● 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。

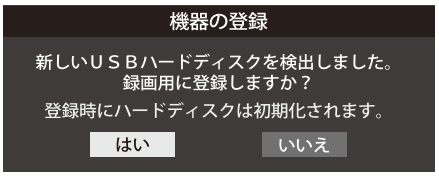
USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクを本機に登録する

● 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 <・>で「はい」を選んで 決定 を押す

● 登録しないときは「いいえ」を選びます。



※「いいえ」を選択した場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、次の「USBハードディスクの設定をする」で「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、<・>で「はい」を選んで 決定 を押す

● 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3 登録名を変更する場合は、<・>で「はい」を選んで 決定 を押す

● 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
● 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、決定 を押します。
● 文字入力方法については、35ページ をご覧ください。
● ␣（スペース）だけの名称は登録できません

4 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、<・>で「はい」を選んで 決定 を押す

● 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。
※ 録画機器は、録画や録画予約の際に変更することもできます。

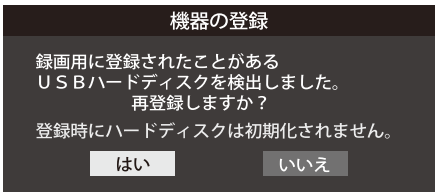
5 〈録画／ムーブのご注意〉などの内容を読み、決定 を押す

● 録画中やムーブ中および録画予約が設定されているときは、本機やUSBハードディスクおよびハブなどの電源プラグを抜かないようにしてください。

6 登録結果の内容を確認し、終了 を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

● 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



● 「はい」を選んで 決定 を押すと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録（新しいハードディスク）として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USBハードディスクの設定をする

● USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1 設定 を押し、∧・∨と 決定 で「外部機器設定」⇨「USBハードディスク設定」の順に進む



2 設定する項目を∧・∨で選んで 決定 を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

● リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。
※ 登録できるのは8台までです。
※ USB ハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されない場合があります。

機器を登録するとき

※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

❶ 登録する機器を∧・∨で選び、決定 を押す
❷ 登録の確認画面で、<・>で「はい」を選んで 決定 を押す
❸ 初期化の確認画面で、<・>で「はい」を選んで 決定 を押す
　・ 初期化と登録の処理が始まります。
❹ 終わったら、登録結果の内容を確認し、決定 を押す

登録名を変更するとき

❶登録名を変更する機器を∧·∨で選び、決定を押す

❷<·>で「はい」を選び、決定を押す

❸文字入力画面で登録名を入力する

- 文字入力方法については、35をご覧ください。

登録を解除するとき

❶登録を解除する機器を∧·∨で選び、赤を押す

❷<·>で「はい」を選び、決定を押す

- 予約が設定されているUSBハードディスク（録画予約アイコン付）は、再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。

※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。

※USB ハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。

※USB ハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。

※本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USB ハードディスクの電源が「入」になることがあります。

※USBハブを使用している場合、 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USB ハードディスクの電源が「入」になることがあります。

❶∧·∨で以下から選び、決定を押す

- オン……USB ハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- オフ……本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

❶取りはずす機器を∧·∨で選び、決定を押す

❷確認画面で、<·>で「はい」を選んで決定を押す

- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

❸USBハードディスクを取りはずし、決定を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。

❶テストする機器を∧·∨で選び、決定を押す

- テストが始まります。終了までに数分間かかります。
- テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
  - 録画 …… ハイビジョン画質で録画ができるか
  - 録画中の再生…ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
  - 録画中の早見早聞…録画中に早見早聞49ができるか

※テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになる場合があります。

※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

❶初期化する機器を∧·∨で選び、決定を押す

❷初期化の確認画面で、<·>で「はい」を選んで決定を押す

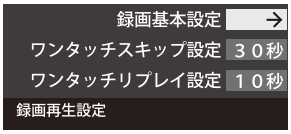
❸初期化終了の画面で決定を押す

録画の基本的な設定をする

● USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 設定 を押し、∧·∨と 決定 で「外部機器設定」⇨「録画再生設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



録画に使用する機器を設定する

● 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

❶∧·∨と 決定 で「録画基本設定」⇨「録画先」の順に進む



❷録画に使用する機器を∧·∨で選び、決定 を押す



チャプター分割のしかたを設定する

● シーンの変わり目でチャプター分割（章分け）されるように設定できます。（チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります）

❶∧·∨と 決定 で「録画基本設定」⇨「チャプター設定」の順に進む

❷チャプター分割の場面を∧·∨で選び、決定 を押す



- 本編 …… 本編とCMの間でチャプター分割されます。
- 音楽 …… 楽曲の前後でチャプター分割されます。
- 本編と音楽…上記の両条件でチャプター分割されます。
- オフ …… チャプター分割をしません。

※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにのみ行われます。

番組を録画する

● テレビ放送番組を録画するときは、以下の操作をします。
※ USBハードディスクに録画中はこの操作はできません。

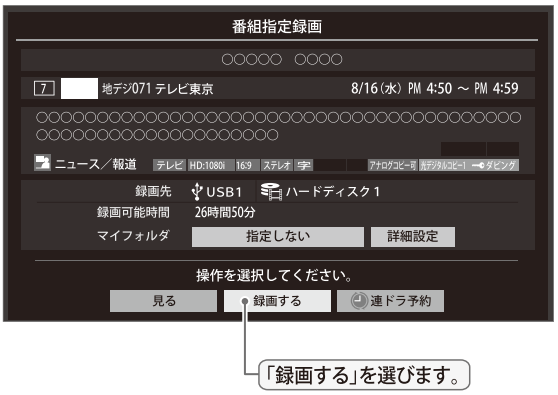
1 テレビ放送を見ているときに 番組表 を押す

● 番組表が表示されます。
● ミニ番組表 22 からも録画できます。

2 録画する番組（放送中）を∧·∨·<·>で選んで、決定を押す

● 番組指定録画画面が表示されます。

3 ∧·∨·<·>で「録画する」を選び、決定を押す



● 現在の設定で録画が開始されます。
設定を変更して録画する場合は、右の説明をご覧ください。
● 外出する場合は、本機（テレビ）の電源を「待機」または「切」にします。（録画は継続されます）
※ 予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

● 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
● USB ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

❶ 録画中に 終了 または 停止 を押す

❷「録画中止」の画面で、<·> で「はい」を選んで決定を押す

録画の設定を変更してから録画するとき

❶ 手順3 で「録画する」を選んでから「詳細設定」を選び、決定を押す



● 詳細設定画面が表示されます。

詳細設定画面でできる設定

● 録画先の機器の変更
❶「録画先」で録画機器を選び、決定を押す
❷ ∧·∨ で「設定完了」を選び、決定を押す

● 放送時間の変更
❶「放送時間」で「連動する」または「連動しない」を選び、決定を押す
- 連動する： 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画します。
- 連動しない： 番組遅延の情報とは連動せずに、録画を開始するときに番組指定録画画面に表示される番組終了時間まで録画します。

❷ ∧·∨ で「設定完了」を選び、決定を押す

その他の録画設定を変更するとき

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」 45 をご覧ください。

留守録機能について

● 本機は、録画予約を設定することで自動的に番組を録画できます。

※ 録画中でも、地デジ・BS・CSが視聴可能です。

番組表で予約をする

● 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

1 番組表 を押す

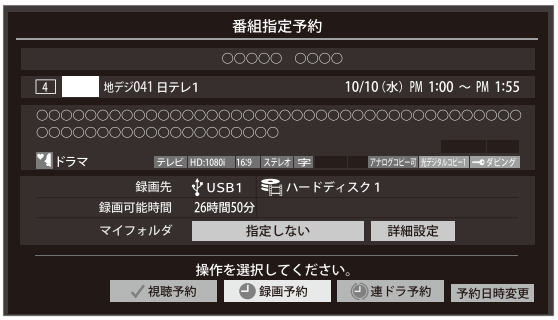
● 番組表が表示されます。

2 予約する番組を∧·∨·<·>で選び、決定 を押す

● 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする

● 録画機器や設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」45 の操作をします。



❶∧·∨·<·>で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す

- 視聴予約：指定した番組の視聴を予約します。
- 録画予約：指定した番組の録画を予約します。
- 連ドラ予約：同じ番組を毎回録画します。43

❷「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

予約する日時を変更する場合

● 再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。

❶∧·∨·<·>で「予約日時変更」を選び、決定を押す

❷メッセージが表示されたら、<·>で「はい」を選び、決定 を押す

❸「日時を指定して予約をする」44 の手順3 以降の操作をする

視聴制限番組について

● 手順3 で視聴制限番組を選んで視聴予約をしたときは、「予約を設定しました。」が表示されます。視聴開始時間に視聴制限番組のメッセージが表示されます。

● 手順3 で視聴制限番組を選んで録画予約または連ドラ予約をしたときは、メッセージが表示されます。<·> を押して「はい」を選び、決定を押すと暗証番号入力画面が表示されます。1 ～ 10/0 で暗証番号を入力すると、選んだ番組の視聴制限が一時解除されます。
「いいえ」を選んだときは、前の画面に戻ります。

※ 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」80 をご覧ください。

※ 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」24 をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

❶<·>で「はい」を選び、決定を押す

● 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷「重複予約確認／取り消し」で、<·>で「はい」を選び、決定を押す。

● 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶決定を押す

❷「予約の確認・変更・取り消しをする」46 の操作をして、予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

● 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」23 に切り換えます。

● マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

● 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。21
● 予約の確認や取り消しについては46 を、予約の優先順位については47 をご覧ください。

連続ドラマを予約する

● 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。
※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

1 番組表 を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を∧·∨·<·>で選び、決定 を押す
- 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSB ハードディスクに設定する
- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」45 の操作で、「録画先」を設定します。

4 ∧·∨·<·>で「連ドラ予約」を選び、決定 を押す
- **画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。**



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する
- 番組名（連ドラ）や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」45 の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ∧·∨·<·>で「はい」を選び、決定 を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定 を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

❶ サブメニュー を押し、∧·∨で「連ドラ予約」を選んで 決定 を押す

❷ 手順5 ～7 の操作をする

録画中の番組を連ドラ予約する場合

- 録画実行中のため、次回から予約します。

❶ サブメニュー を押し、∧·∨で「連ドラ予約」を選んで 決定 を押す

❷ 手順5 ～7 の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
  ※ 追跡基準（開始時刻）の前後約２時間が検索されます。
- **追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。**

お知らせ
- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- ㊎などの囲い文字は［映］などと表示されます。また、漢字の旧字などの特殊な文字は表示されない場合があります。
- 予約の確認や取り消しについては46 を、予約の優先順位については47 をご覧ください。

日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「予約リスト」を選んで 決定 を押す

- 予約リストが表示されます。

2 青 を押す

- 日時指定予約画面が表示されます。

3 録画予約の日時を設定する



❶設定する項目を〈·〉で選び、∧·∨で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷設定が終わったら、決定 を押す

4 録画するチャンネルを設定する



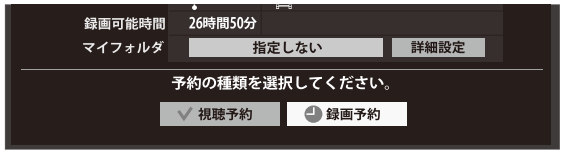
❶設定する項目を〈·〉で選び、∧·∨で内容を選ぶ

- 放送の種類……地デジ／BS／CS
- 放送メディア……テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- チャンネル……指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

❷設定が終わったら、決定 を押す

5 録画設定を変更する場合は、45ページ の手順で操作をする

6 ∧·∨·〈·〉で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定 を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定 を押す

メッセージなどが表示された場合

- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」、「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、42ページ をご覧ください。

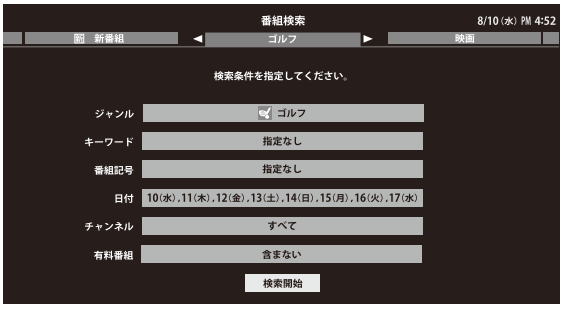
番組を検索して録画・予約をする

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。

2 緑 （番組検索）を押す

- 番組検索画面が表示されます。



3 「条件を絞りこんで番組を探す」25ページ の手順3 ～ 5 の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を∧·∨で選び、決定 を押す



5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約する」42ページ の手順3 と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては46ページを、予約の優先順位については47ページをご覧ください。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「詳細設定」を∧·∨で選び、決定を押す

● 録画・録画予約の「マイフォルダ」の設定は、画面上の「マイフォルダ」を選んで変更します。

「マイフォルダ」を変更するとき

❶ 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を∧·∨·<·>で選び、決定を押す

❷ ∧·∨で設定したいフォルダグループを選び、決定を押す

2 設定する項目を∧·∨·<·>で選び、決定を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 ∧·∨で内容を選び、決定を押す

4 ∧·∨·<·>で「設定完了」を選び、決定を押す

項　目	内　容
録画先	• 録画をする機器を選びます。
マイフォルダ	• 番組の再生時に探しやすくするために、録画時にフォルダ分けします。 再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。54
チャプター設定	• 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター（章）が分割されます。 • 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます。（メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときのみ） • 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。 • チャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 • 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。54 ※ 番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※ チャプター数の上限（100個）に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。
保護	• 録画する番組を保護する（消さないようにする）かどうかを設定します。 録画後に設定することもできます。52
連ドラ	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます。（再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します） • 文字入力のしかたは、35をご覧ください。 • 連ドラの名称（連ドラグループ名）はあとで変更することもできます。54
追跡キーワード	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます。（1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます）
追跡基準	• 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。
上書き録画	• 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。
放送時間	• 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。（放送時間の繰り上げには対応できません） • ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順については47をご覧ください。

予約の確認・変更・取り消しをする

● 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

1

サブメニュー を押し、∧·∨で「予約リスト」を選んで 決定 を押す

● 予約リストが表示されます。

2

予約の確認や変更、取り消しをする番組を∧·∨で選び、決定 を押す



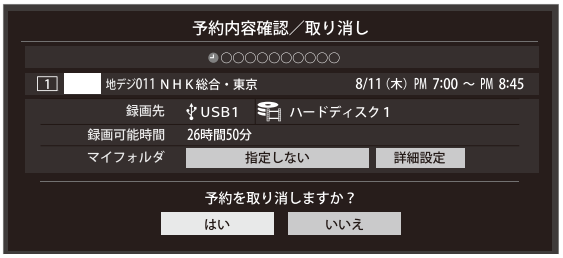
録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。

3

以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶<·>で「はい」を選び、決定 を押す

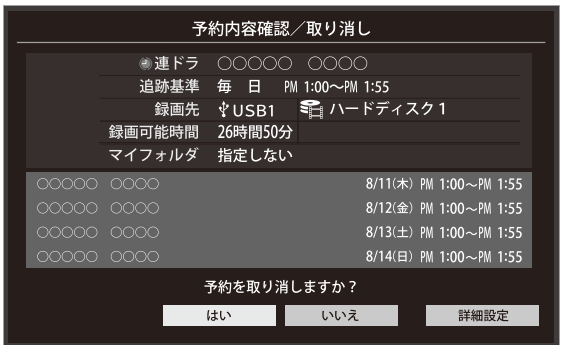


録画設定を変更するとき

● 前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

❶<·>で「はい」を選び、決定 を押す



※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組（録画中を含む）から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

❶∧·∨·<·>で「詳細設定」を選び、決定 を押す

❷∧·∨で設定を変更する項目を選び、決定 を押す

● 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の表を参照してください。

❸∧·∨·<·>で「設定完了」を選び、決定 を押す

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

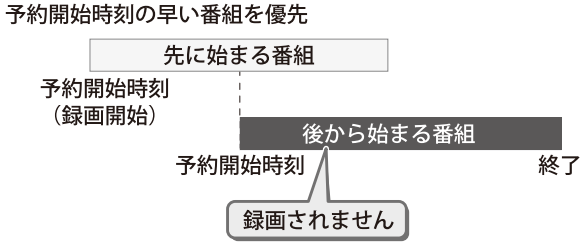
● 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。

優先順1位 録画予約 > 優先順2位 現在番組の録画 > 優先順3位 視聴予約

● 録画終了直後の時刻から始まる番組を視聴予約してもその視聴予約は実行されません。
例：８時から９時までの番組を録画している場合
９時からの視聴予約は実行されません。

予約時間の一部が重なっているとき

● 予約録画が重なった場合後発の予約は実行されません



● 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約15秒が録画されません。

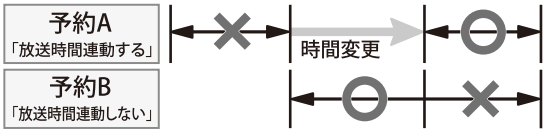
放送時間が変更されたとき

● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

● 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

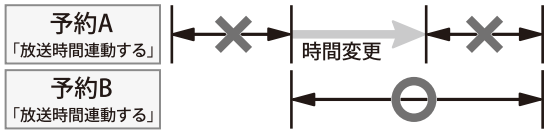


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶ 開始時刻が変更された場合

● 開始時刻の早い予約が優先されます。

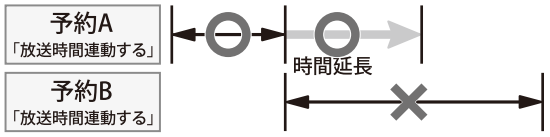
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



❷ 放送時間が延長された場合

● 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。



❸ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

● 最初に予約設定した番組が優先され、２番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

録画した番組を再生する

● USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リスト を押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

● 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。

❶ 10秒戻し（«） ・ 30秒送り（»） で分類タブを切り換える

- すべて…… すべての録画番組が表示されます。
- 未視聴…… 未再生の録画番組が表示されます。
- 曜日別…… 録画した曜日ごとに表示されます。
- ジャンル別 …… ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。 番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- 連ドラ別……「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- マイフォルダ別…指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

❷ <・> でグループタブを切り換える

● 分類が「すべて」と「未視聴」の場合はグループタブはありません。

● 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組のみリストに表示されます。

3 見たい番組を∧·∨で選び、決定 を押す

● 選んだ番組の再生が始まります。

● 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます（レジューム再生）。

● 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビの放送になります。

● 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

4 番組再生を終了するには、停止（■） または 終了 を押す

● 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生する ー頭出し再生

❶ 再生する番組を選んでから、サブメニュー を押し、∧·∨ で「頭出し再生」を選んで 決定 を押す

録画中の番組を再生する ー追っかけ再生

❶ 録画中の番組を∧·∨で選んで 決定 を押す

チャプターの一覧画面から再生する

● チャプターが分割されている録画番組でできます。

❶ 再生する番組を∧·∨で選んで 緑 を押す

● チャプター一覧画面が表示されます。

❷ 再生するチャプターを∧·∨·<·>で選んで 決定 を押す

● 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

❶ サブメニュー を押し、∧·∨ で「サーチ」を選んで 決定 を押す

● 画面右上に サーチ－:－－:－－ が表示されます。

❷ 1 ～ 10/0 で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10/0 → 1 → 2 → 5 → 10/0 → 5 の順に押します。

録画リスト（例）



お知らせ

● 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります。（録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています）

■ 録画リストについて

● 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。

● 録画リストに表示できる最大数は3000番組までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。

● 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画した番組を再生する つづき

録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内　容
早見早聞 ▶	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
静止 ⏸	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
停止 ■	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
早送り ▶▶	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります) 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります 。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
早戻し ◀◀	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります) 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
30秒送り »	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
10秒戻し «	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
▶▶| スキップ	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。 • チャプターのない録画番組では録画日時が一つつぎの番組を再生します。
|◀◀ スキップ	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4 秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなる場合があります。その場合は、早見早聞 ▶ で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する

● ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくと、飛ばしすぎて戻すときに便利です。

❶ 設定 を押し、∧∨と決定で「外部機器設定」⇨「録画再生設定」の順に進む

❷ ∧∨で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、決定を押す

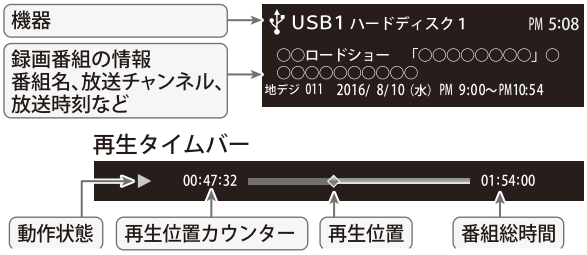
❸ ∧∨で時間を選び、決定を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

❶再生中に 画面表示 を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



❷表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す

番組説明を見る

❶録画リスト表示中または番組の再生中に 番組説明 を押すか、あるいは サブメニュー を押し、∧·∨で「番組説明」を選び 決定 を押す。

- 番組説明画面が表示されます。

❷番組説明画面を消すには、終了 を押す

- しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

❶ 設定 を押し、∧·∨と 決定 で「外部機器設定」⇨「USBハードディスク設定」の順に進む

❷ ∧·∨で「録画番組の修復」を選び、決定 を押す

❸番組を修復する機器を∧·∨で選び、決定 を押す

❹確認画面で、<·>で「はい」を選び、決定 を押す

- 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。

❺「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、決定 を押す

- この操作には、30分程度かかる場合があります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。

※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

見たい録画番組を探して再生する

- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ（タブ）ごとに検索条件を設定できます。

※ USBハードディスクへの録画中は検索できません。

1 録画リストの表示中に サブメニュー を押す

2 ∧·∨で「番組検索」を選び、決定 を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを<·>で選ぶ



4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」25ページ の手順4 と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

❶∧·∨で「日付」を選び、決定 を押す



❷<·>で左端の欄に移動し、∧·∨で「指定する」を選ぶ

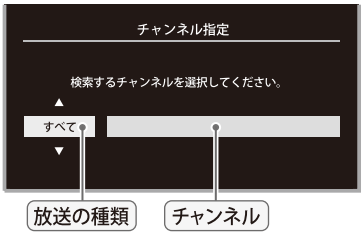
❸<·>で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を∧·∨で選ぶ

❹指定が終わったら、決定 を押す

「チャンネル」を指定するとき

❶∧·∨で「チャンネル」を選び、決定 を押す

❷指定する項目を<·>で選び、∧·∨で内容を選ぶ



- 放送の種類…すべて／BS／CS／地デジ
- チャンネル…指定した放送の種類に該当するチャンネル／すべて

❸指定が終わったら、決定 を押す

5 ∧·∨·<·>で「検索開始」を選び、決定 を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を∧·∨で選び、決定 を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

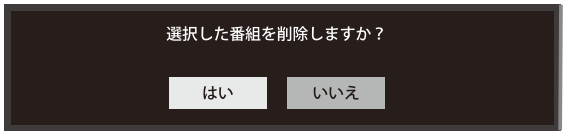
● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

1 消す番組を∧·∨で選び、赤（削除）を押す
- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除（右下参照）してから 赤 を押してください。

2 ∧·∨で「1件削除」を選び、決定 を押す

3 確認画面で、<·>で「はい」を選んで 決定 を押す



4 削除が終了したら、決定 を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを∧·∨で選び、赤（削除）を押す

2 ∧·∨で「複数削除」を選び、決定 を押す

3 消す番組を∧·∨で選び、決定 を押す
- 決定 を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。削除する番組に✓をつけます。
- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、青 を押して保護を解除してから 決定 を押します。



4 選択が終わったら 赤（削除実行）を押す

5 確認画面で、<·>で「はい」を選んで 決定 を押す

6 削除が終了したら、決定 を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる
- 「録画した番組を再生する」48 の手順2 をご覧ください。

2 赤（削除）を押し、∧·∨で「グループ内全削除」を選び、決定 を押す

3 確認画面で、<·>で「はい」を選んで 決定 を押す

4 削除が終了したら、決定 を押す

自動的に消す（自動削除設定）

● お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されないように設定されています。削除されるようにする場合は「削除する」に設定してください。

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「自動削除設定」を選んで 決定 を押す

2 ∧·∨で「削除する」または「削除しない」を選び、決定 を押す

誤って消さないように保護する

● 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を∧·∨で選び、サブメニュー を押す

2 ∧·∨で「保護」を選び、決定 を押す
- 選択した番組が保護されます。（🔒がつきます）
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

録画リストのさまざまな機能を使う

● 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

繰り返し再生の設定を変える

● 録画番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。
● 設定した状態は本機に記憶されます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「再生設定」を選んで 決定 を押す

2 ∧·∨で以下から選び、決定を押す

- 1コンテンツリピート…選択した一つの番組の再生を繰り返します。
- リピート …… すべての番組の連続再生を繰り返します。
- オフ …… 繰り返し再生をしません。

● リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます。(1コンテンツリピート:↻1、リピート:↻)
● 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

● 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。
● 設定は機器ごとに記憶されます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「並べ替え」を選んで 決定 を押す

2 ∧·∨で以下から選び、決定を押す

- 新しい順…… 日付の新しい順に表示されます。
- 古い順…… 日付の古い順に表示されます。

ほかの機器を選択する

● 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 青 を押す

● 機器選択画面が表示されます。
※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を∧·∨·<·>で選び、決定を押す

連ドラ予約をする

● 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を∧·∨で選び、サブメニュー を押す

2 ∧·∨で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、<·>で「はい」を選んで決定を押す

● 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
● 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」45の操作をします。

機器の情報を確認する

● 使用中の機器の情報を確認できます。

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「機器の情報」を選んで 決定 を押す

● 機器情報画面が表示されます。

2 情報画面を消すには、決定を押す

ハードディスクの残量を確認する

● USBハードディスクの残量を画面で確認できます。
※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
※ USBハードディスクの残量は、ＢＳ・１１０度ＣＳデジタルハイビジョン放送(24Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 サブメニュー を押し、∧·∨で「ハードディスク残量表示」を選んで 決定 を押す

● 残量表示画面が表示されます。

2 残量表示画面を消すには、決定を押す

チャプター編集をする

録画済番組の再生中に編集する

● 録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる（48ページ 1 ～2）

2 チャプター編集をする録画済番組を∧･∨で選び、決定を押す

3 各種の再生操作をして、チャプター分割をしたい場面で 静止 を押す

● 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。



● 早戻し ・ 早送り を長押しすると、連続コマ戻しやスロー再生ができます。連続コマ戻しやスロー再生中に 静止 を押すと、簡単に分割したい場面を選ぶことができます。

4 青 または 赤 でチャプター編集をする

● 青 を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。

● 赤 を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。

● 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

グループ名を変更する

● 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。

● 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。

● ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。

● 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる（48ページ 1 ～2）

● 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを<･>で選ぶ

例「わたし」のグループを選択



3 サブメニュー を押し、∧･∨と決定で「編集・管理」⇨「マイフォルダ管理」⇨「マイフォルダ名の変更」の順に進む

● 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇨「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4 文字入力画面でグループ名を入力する

● お好みの分類名にすることができます。

● 文字入力のしかたは、35ページをご覧ください。

● 全角文字で10文字まで入力できます。

● 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例「わたし」⇨「まさみのお気に入り」に変更



ほかのグループに移動する

● 録画番組をほかのグループに移動することができます。
たとえば、録画時の設定で「わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。
※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる（48ページ 1 ～2）

2 移動する番組が保存されているグループのタブを〈·〉で選ぶ

3 移動する番組を∧·∨で選ぶ

4 サブメニュー を押し、∧·∨と決定で「編集・管理」⇨「マイフォルダ管理」⇨「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ∧·∨ で以下から選び、決定 を押す
- 1件変更 …… 選択中の番組を別のグループに移動します。
- 複数変更 …… 複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- グループ内全変更 …… 選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを ∧·∨ で選び、決定 を押す

● グループアイコンとグループ一覧（お買い上げ時の設定）

	みんな		お気に入り1
	おとうさん		お気に入り2
	おかあさん		お気に入り3
	ぼく		お気に入り4
	わたし		お気に入り5
	おじいちゃん		お気に入り6
	おばあちゃん		指定しない

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

❶ 移動する番組を∧·∨で選び、決定 を押す
- 決定 を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。移動する番組に✓をつけます。
- 保護されている番組も移動できます。



❷ 移動する番組をすべて選んだら 黄 を押す

8 確認画面で、〈·〉で「はい」を選んで 決定 を押す

録画番組を他の録画機器にムーブ(移動)する

● 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にムーブすることができます。

※ USBハードディスクへの録画中はムーブできません。

※ ムーブ中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

※ ムーブ中は再生できません。

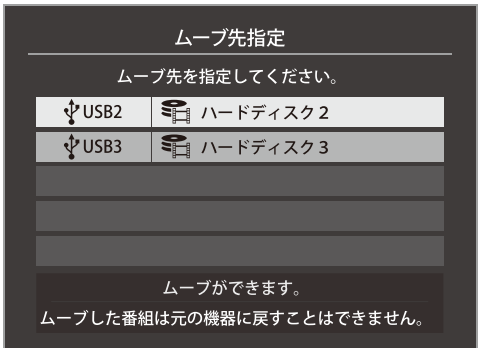
1 録画リストを表示させる(48ページ 1～2)

2 ムーブする番組を∧·∨で選び、黄 を押す

3 ∧·∨で「1件ムーブ」または「複数ムーブ」を選び、決定 を押す

4 ムーブ先を∧·∨で選び、決定 を押す

● ムーブ先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



5 「複数ムーブ」の場合は以下の操作をする

❶ ムーブする番組を∧·∨で選び、決定 を押す

● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✓をつけた番組がムーブされます。

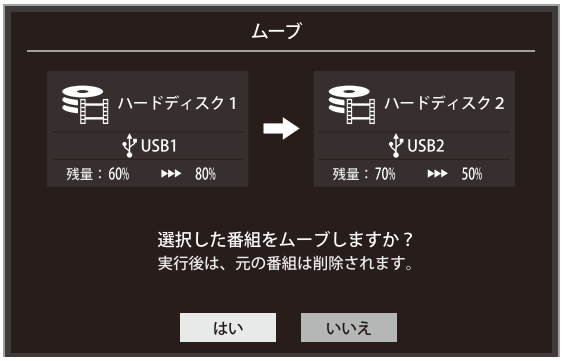
● 保護された番組をムーブする場合は、その番組を選び、青 を押して保護を解除してから決定を押します。



❷ ムーブする番組をすべて選んだら 黄 を押す

● 一度にムーブできるのは16番組までです。

6 「ムーブ」画面で、く·>で「はい」を選んで決定 を押す



● ムーブが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



ムーブを中止するとき

● ムーブを途中でやめるときは、以下の操作をします。

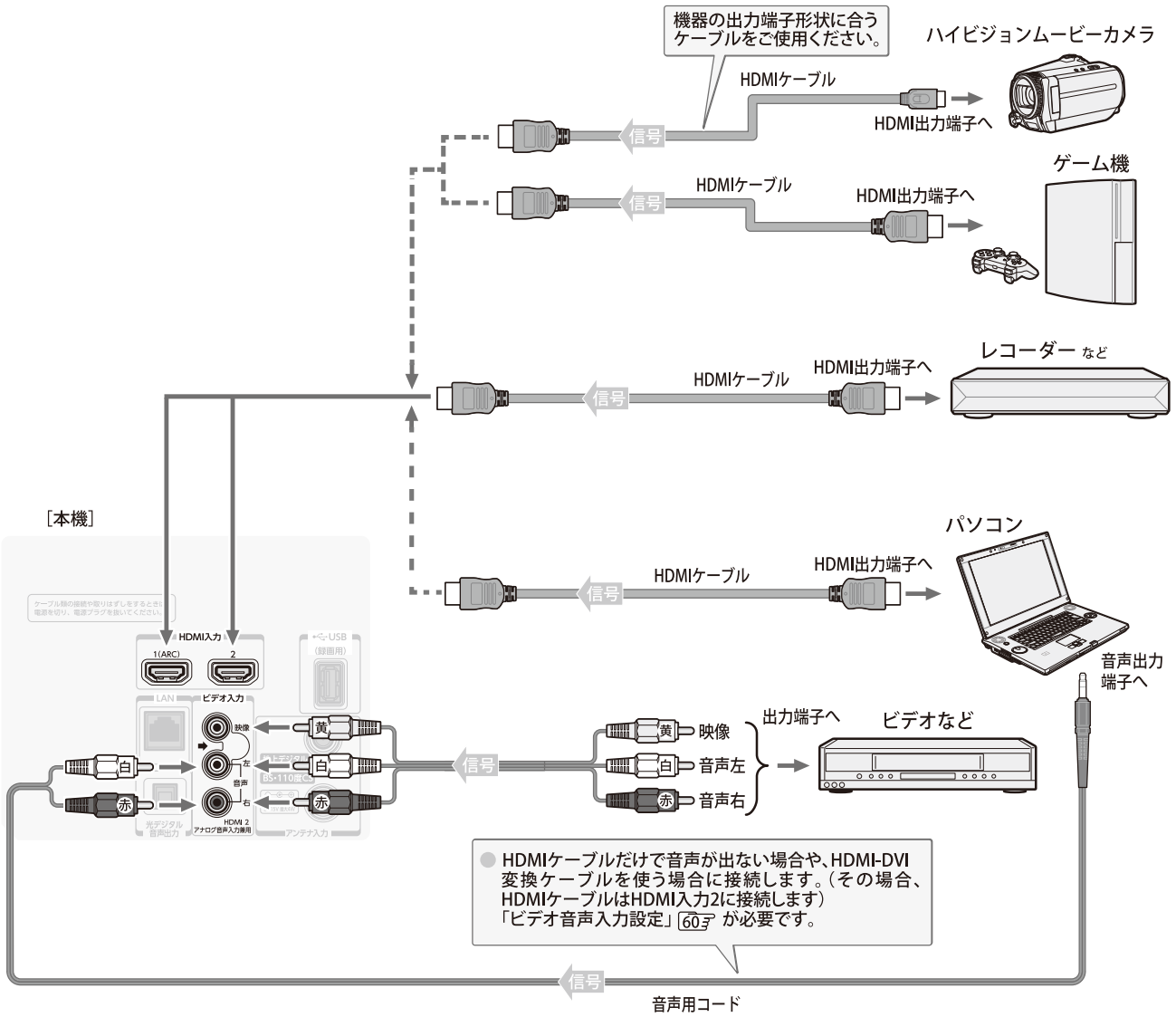
❶ ムーブ中に 終了 または 停止 を押す

❷ 「ムーブ中止」の画面でく·>で「はい」を選んで決定を押す

外部機器を接続する

映像機器接続例

- 接続が終わったら、 60 の「外部入力の機能を設定する」を参照して必要な設定をしてください。
- HDMI連動機器では、本機との連動機能によって、システムスタンバイの機能を使ったり、本機のリモコンで機器の基本操作をしたりすることができます。詳しくは、「HDMI連動について」 61 をご覧ください。
  必要に応じて「HDMI連動機能」 62 の設定をしてください。



お知らせ

※ 本機の「ピクチャーエンハンサー設定」 69 と同様の高画質機能を備えた機器を接続した場合、本機の機能との相互作用で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の「ピクチャーエンハンサー設定」をオフにしてください。

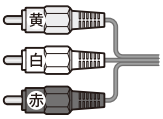
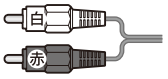
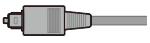
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては次ページをご覧ください。

■ パソコンについて

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号 83 を入力してください。（本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります）
- パソコンのDVD 再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。

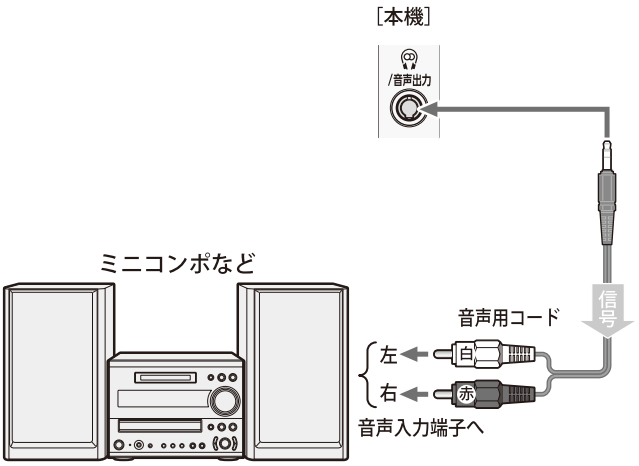
外部機器を接続する つづき

- 本機に接続できる接続ケーブル（接続コード）の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。
- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをご使用ください。また、外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。（標準HDMI®ケーブルでは、正常に動作しないことがあります）

接続ケーブル（接続コード）	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル（入力用） 	画質・音質ともに最高	デジタル映像信号 480i、480p、720p、1080i、1080p デジタル音声信号 リニアPCM、MPEG-2 AAC サンプリング周波数：48kHz、44.1kHz、32kHz
映像・音声用コード（入力用） 	画質・音質ともに標準	アナログ映像信号 480i アナログ音声信号
音声用コード（入力用） 	標準の音質	アナログ音声信号
オーディオ用光デジタルケーブル（出力用） 	最高の音質	デジタル音声信号（光） リニアPCM サンプリング周波数：48kHz MPEG-2 AAC サンプリング周波数：48kHz、44.1kHz、32kHz
音声用コード（出出力用） 	標準の音質	アナログ音声信号

アナログ音声入力端子付のオーディオ機器で聴くとき

- ヘッドホン／音声出力端子を使って、アナログ音声入力端子付のオーディオ機器に接続することができます。
- 「ヘッドホン／音声出力設定」71 を「外部スピーカー出力設定」に設定してください。
- 「外部スピーカー出力設定」71 で音量を「固定」または「可変」に設定することができます。



ご注意

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

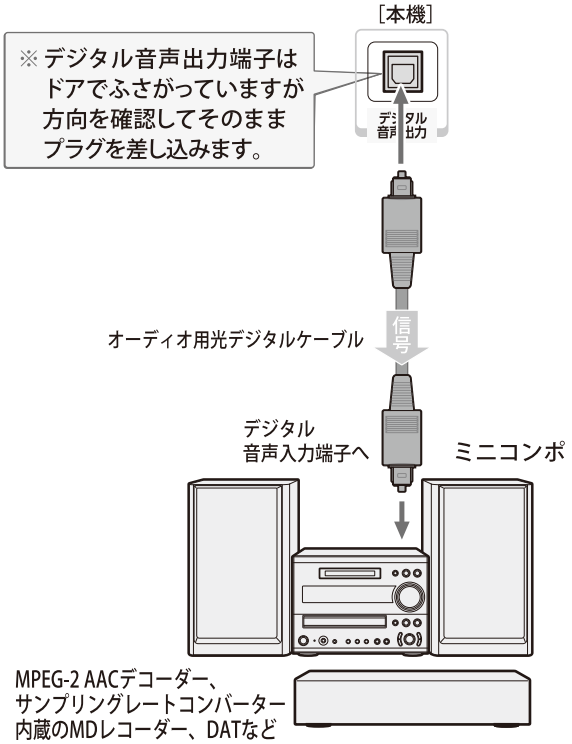
お知らせ

■ ヘッドホン／音声出力端子について

- ヘッドホン／音声出力端子からは、テレビのスピーカー音声と同じ音声のアナログ信号が出力されます。ただし、音声調整の「低音」、「高音」は使用できません。

デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき

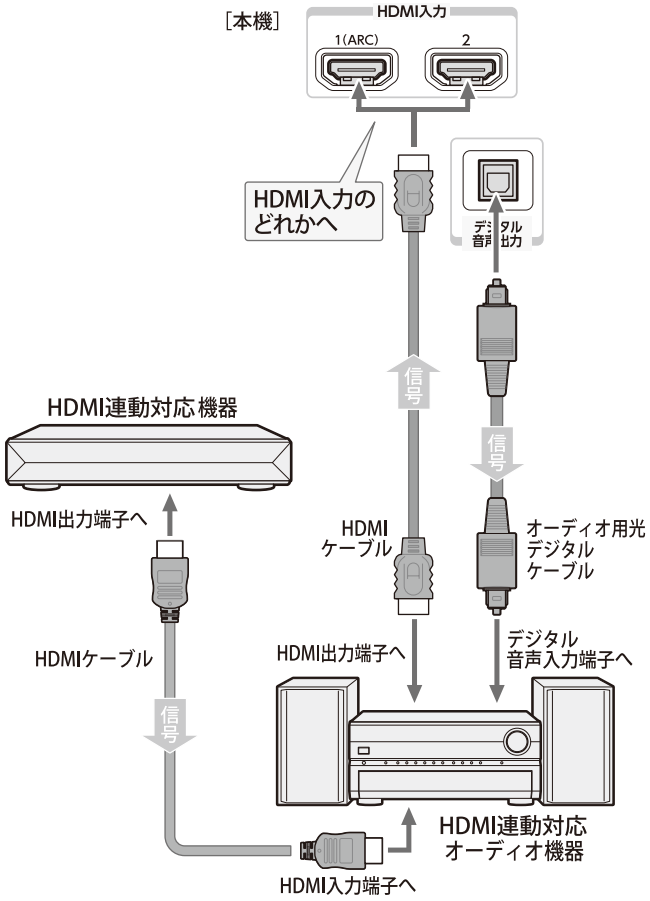
- ミニコンポなどのオーディオ機器に接続するとき
  - 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器側で音量を調節してご使用ください。
  - オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」71ページの設定をします。
- サンプリングレートコンバーター内蔵のMDレコーダーやDATに接続するとき
  - MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
  - 「デジタル音声出力」71ページを「PCM」に設定します。
- MPEG-2 AACデコーダーに接続するとき
  - デジタル放送のMPEG-2 AAC方式の信号を、MPEG-2 AACデコーダーで楽しむことができます。
  - 「デジタル音声出力」71ページを「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定します。



※ デジタル音声ケーブルのプラグには2種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。
本機側に差し込むプラグの形状は、  です。

HDMI連動対応のオーディオ機器で聴くとき

- HDMI連動対応のオーディオ機器を本機にHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます。
- オーディオ機器のHDMI入力端子にHDMI連動機器を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」71ページの設定をします。また、必要に応じて「HDMI連動設定」62ページをしてください。



※ ARC対応のオーディオ機器を、ARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1（ARC）端子に接続する場合は、デジタル音声ケーブルの接続は不要です。

お知らせ

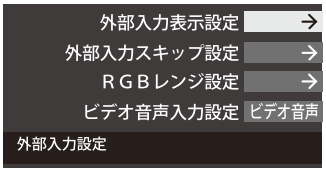
- デジタル音声出力端子からは、テレビのスピーカー音声と同じ音声のデジタル信号が出力されます。ただし、音声調整の効果は得られません。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。
- HDMI入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、デジタル音声出力端子から出力される信号を他の機器に録音することはできません。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては 58ページ をご覧ください。

外部入力の機能を設定する

● 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「機能設定」⇨「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



入力切換時に画面に表示される機器名を設定する

● 入力切換をしたときに表示される機器の名称（ブルーレイ、DVDなど）を変更することができます。

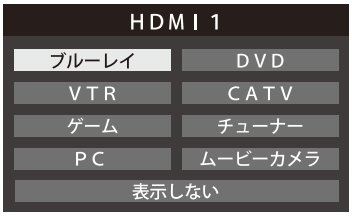
❶ ∧·∨で「外部入力表示設定」を選び、決定を押す

❷ 設定する外部入力を∧·∨で選び、決定を押す

● 「外部入力表示設定の初期化」を選択すると、お買い上げ時の設定に戻すことができます。



❸ 表示させる機器名を∧·∨·<·>で選び、決定を押す



使用しない外部入力をスキップする

● 入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする（飛び越す）ことができます。

❶ ∧·∨で「外部入力スキップ設定」を選び、決定を押す

❷ 設定する外部入力を∧·∨で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに「スキップ」が「する」、「しない」に交互に切り換わります。



- する …… 入力切換時に入力をスキップします。
- しない …… 入力切換時にスキップしません。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

● 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

❶ ∧·∨で「RGBレンジ設定」を選び、決定 を押す

❷ 設定するHDMI入力を ∧·∨で選び、決定を押す



❸ ∧·∨で以下の設定から選び、決定を押す

- オート …… 自動切換になります。
- フルレンジ……RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
- リミテッドレンジ…RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。

ビデオ入力の音声入力を設定する

● HDMI入力2に接続した機器からの音声を本機から出したいときに、ビデオ入力の音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用するように設定できます。

❶ ∧·∨で「ビデオ音声入力設定」を選び、決定 を押す

❷ ∧·∨で以下の設定から選び、決定を押す



- ビデオ音声…… ビデオ入力の音声入力端子として使用します。（お買い上げ時の設定）
- HDMI2アナログ音声 …HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。

HDMI連動について

HDMI連動機能でできること

● 本機は以下のHDMI連動 に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

● 本機に接続したHDMI連動対応の録画機器や再生機器などの操作が本機のリモコンでできます。63

例



電源の入／切や入力切り換えの動作を連動させる

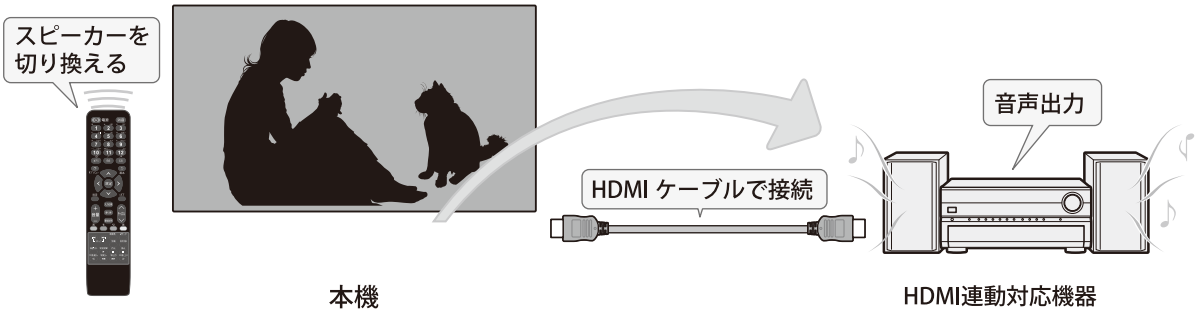
● ワンタッチプレイ …… HDMI連動対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。

● システムスタンバイ …… 本機の電源を「切」にすると、機器も連動して電源が「切」（待機）になります。

オーディオ機器と連携させる

● オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。64

例 音声を対応機器のスピーカーで聴く



準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動対応の映像機器やオーディオ機器	映像機器の接続：57 オーディオの接続：59 本機の設定：62	● HDMI連動機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

オーディオ機器について

● オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ない場合があります。

● オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

HDMI連動について つづき

HDMI連動機能について

- 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 接続したHDMI連動機器によっては、一部またはすべての連動操作ができない場合があります。
- HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  - すべての接続機器の動作を確認してください。

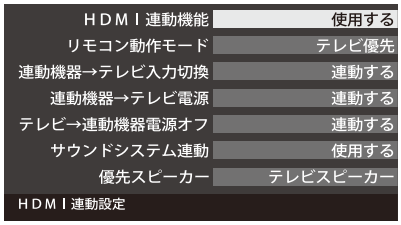
※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

本機のリモコンでHDMI 連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、 各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 設定 を押し、∧·∨と 決定 で「外部機器設定」⇨「HDMI連動設定」の順に進む

2 設定する項目を∧·∨で選び、決定 を押す



3 希望の設定を∧·∨で選び、決定 を押す

- 以降の説明を参照して設定してください。（「HDMI連動機器リスト」は対応機器のリスト表示のみです）

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI 連動機器操作、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」 に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器から本機の電源を操作することができる機能です。例えば、連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になる機能です。

※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならない場合があります）

※ 本機の「省エネ設定」32や「アラーム」33とも連動します。

サウンドシステム連動

- 「使用する」に設定すると、HDMI連動対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。
  - 音声をテレビから出すか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切換
  - オーディオ機器の音量調節や消音

優先スピーカー

- 「サウンドシステム連動」を「使用する」に設定した場合に、優先するスピーカーを選択します。
  - テレビスピーカー
    本機のスピーカーから音声が出ます。
  - サウンドシステムスピーカー
    オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。64

※ 本機のヘッドホン端子は、本機のスピーカーから音声が出る条件のときに使用できます。

お知らせ

- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、オーディオ機器：１台、レコーダー：3台、プレーヤー：3台、チューナー：4台までです。
- 「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しても、本機の状態によっては自動的に入力が切り換わらない場合があります。
- HDMI連動対応機器について、最新情報はメーカーのホームページ をご覧ください。

※ 本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

■ システムスタンバイについて

- 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
- 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

本機のリモコンで対応機器を操作する

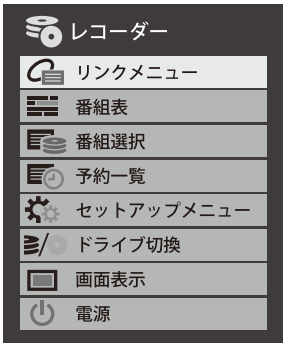
機器を操作する

● 入力切換 の操作で HDMI連動対応機器が接続 された入力（HDMI1 ～ 2）を選んだあと、「サブメニュー」の「機器操作」を選ぶと、操作メニューが表示されます。

❶ サブメニュー を押し、∧∨で「機器操作」を選んで 決定 を押す

- 本機のリモコンで、HDMI連動対応の録画機器や再生機器などの基本操作をすることができます。
- 機器操作メニューにある機能を本機のリモコンで直接操作できる場合があります。操作については下の「本機のリモコンでできるおもな操作」をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます。（機器操作メニューを再表示させるには、手順❶の操作をします）
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。

例



本機のリモコンでできるおもな操作

● HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



本機のリモコンボタン	動作の内容
早見早聞 ▶	番組を再生します。
静止 ⏸	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
停止 ■	録画や再生を停止します。
⏭ スキップ	一つ先に進んで頭出し再生をします。
⏮ スキップ	前に戻って頭出し再生をします。
早送り ▶▶	再生中に押すと早送り再生になります。
早戻し ◀◀	再生中に押すと早戻し再生になります。
∧・∨・＜・＞	メニューなどで項目を選択します。
決定	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
戻る	一つ前の操作に戻ります。
終了	操作を終了します。
青 赤 緑 黄	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を操作します。
＋ 音量 －	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く

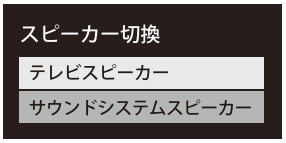
オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMI ケーブルおよび光デジタル音声ケーブルで接続します。59
- 光デジタルケーブルの代わりに音声用コードで接続することもできます。その場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」71を「固定」に設定します。
- HDMI連動 に非対応のオーディオ機器の場合、本機のスピーカーから音声を出さないときは、以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節してください。

1 サブメニュー を押し、∧∨で「スピーカー切換」を選んで 決定 を押す

2 ∧∨で「サウンドシステムスピーカー」を選び、決定 を押す

- 以下の場合に「サウンドシステムスピーカー」が表示されます。
  - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器（AVアンプなどとそのスピーカー）がHDMI ケーブルで接続されていて、動作状態になっている。（スピーカーから音声が出るようになっている）
  - 「HDMI連動設定」62 が以下のように設定されている。
    - ＨＤＭＩ連動機能　……使用する
    - サウンドシステム連動……使用する
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。



3 音量を調節する

- ＨＤＭＩ連動対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

※ＨＤＭＩ連動非対応のオーディオ機器を音声用コードで接続している場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」71 に従った方法で音量を調節してください。

- 固定…… オーディオ機器で音量を調節します。
- 可変…… 本機のリモコンで音量を調節します。

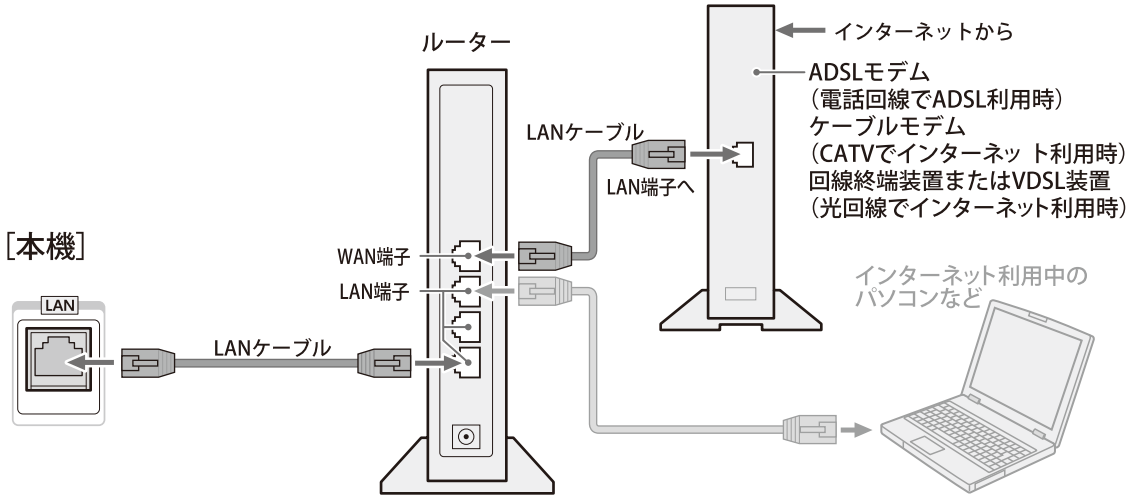
インターネットを利用するための接続をする

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内　容	記載ページ
データ放送の 双方向サービス	●データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。	27

接続のしかた

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続が終わったら、必要に応じて次ページの「通信設定」をしてください。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターのLAN端子を市販のLANケーブルで接続するだけです。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
  - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
  - モデムについてご不明な点など。

お知らせ

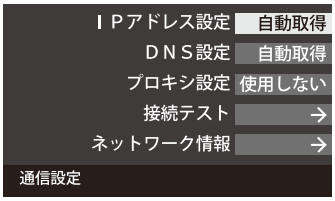
- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

●お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「初期設定」⇨「通信設定」の順に進む

2 設定する項目を∧·∨で選んで、決定を押す



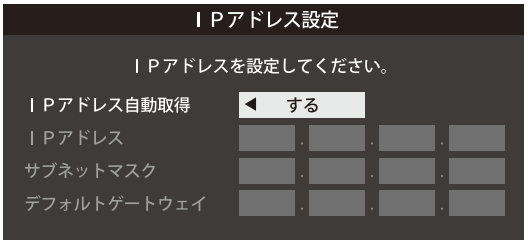
3 以降の手順で設定する

IPアドレス設定

●インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶IPアドレスを自動取得できる場合は、<·>で「する」を選ぶ



自動取得できないネットワーク環境の場合

①<·>で「しない」を選ぶ

②∧·∨で「IPアドレス」を選び、1〜10/0で入力する

③∧·∨で「サブネットマスク」を選び、1〜10/0で入力する

④∧·∨で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1〜10/0で入力する

- ②〜④では0〜255　の範囲の数字（左端の欄は0以外）を4箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、>を押します。

❷決定を押す

DNS設定

●ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶DNSアドレスを自動取得できる場合は、<·>で「する」を選ぶ

自動取得できないネットワーク環境の場合

①<·>で「しない」を選ぶ

②∧·∨で「DNSアドレス（プライマリ）」を選び、1〜10/0で入力する

③∧·∨で「DNSアドレス（セカンダリ）」を選び、1〜10/0で入力する

- ②と③では0〜255　の範囲の数字（左端の欄は0以外）を4箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、>を押します。

❷決定を押す

プロキシ設定

●インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

●ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。

●ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

❶∧·∨で「使用する」を選び、決定を押す

❷∧·∨で「サーバー名」を選び、決定を押す

❸サーバー名を入力する

- 文字入力方法については、353をご覧ください。
- 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の!"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{}˜?_/です。

❹∧·∨で「ポート番号」を選び、1〜10/0でポート番号を入力する

❺∧·∨で「設定完了」を選び、決定を押す

接続テスト

●「通信設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。

●正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで決定を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「通信設定」を選んで決定を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク情報

●現在利用しているネットワーク情報が表示されます。

例

ネットワーク情報	
接続タイプ	有線
ＩＰアドレス設定	自動取得
ＩＰアドレス	ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ
サブネットマスク	ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ
デフォルトゲートウェイ	ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ
ＤＮＳ設定	自動取得
ＤＮＳアドレス（プライマリ）	ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ
ＤＮＳアドレス（セカンダリ）	ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ
プロキシ設定	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
有線ＭＡＣアドレス	ＸＸ−ＸＸ−ＸＸ−ＸＸ−ＸＸ−ＸＸ

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■IPアドレス設定について

●本機に接続されたルーターのDHCP機能（IPアドレスを自動的に割り当てる機能）がONのときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。
（通常は、「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です）

●ルーターのDHCP機能がOFFのときは「自動取得」を「しない」にして、手動で設定します。

●手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。

●設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します。（詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください）

■DNS設定について

●本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。（通常は、「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です）

●本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。（プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください）

■通信設定の接続テスト結果について

●接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。

(1) LAN端子の接続状態と「通信設定」を確認する

・正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください。（ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください）

(2)ネットワーク環境の接続確認

・以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

❶ パソコンのインターネット・ブラウザ（Internet Explorerなど）を起動する

❷ URL欄に「www.nhk.or.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する

・ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します（詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください）。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

■PPPoE設定について

●本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。（設定にはパソコンが必要です）

用語

■IPアドレス

インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。（例：111.112.xxx.xxx）

■DNSサーバー

ドメイン名（xxx.co.jpなど）をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します（例：111.112.xxx.xxx）。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。（例：255.255.xxx.xxx）

■デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。（例：111.112.xxx.xxx）

■プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。（例：proxy.xxx.xxx.xxx）
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール（外部からの不正侵入防護壁）を越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができます。

■MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

お好みの映像モードを選ぶ

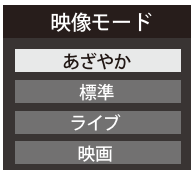
- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像モードを選ぶことができます。
- 映像モードは、放送/再生の映像や各入力端子の映像などでそれぞれ記憶させることができます。

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「映像設定」⇨「映像モード」の順に進む



2 お好みの映像モードを∧·∨で選び、決定を押す

- 選択できる映像モードは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像モードは表示されません。



映像モード	内　容
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です。（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
ライブ	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
映画	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。（暖か味のある色あいが再現されます）
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。（HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます）
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です。（HDMI入力のときに選択できます）

お好みの映像に調整する

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「映像設定」⇨「映像調整」の順に進む



2 調整する項目を∧·∨で選び、決定を押す

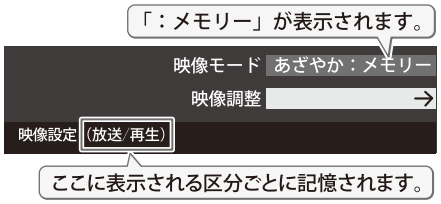


3 以降の手順（70ページまで）でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します。（「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」などのように、調整時に∧·∨で調整項目を切り換えられる項目もあります）

「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像モード」に調整状態が記憶され、「映像モード」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、（放送/再生）の「あざやか：メモリー」と（HDMI1）の「あざやか：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。



お好みの映像に調整する つづき

バックライト

● お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶ <・>でお好みの明るさに調整し、決定を押す
- 「00」～「100」の範囲で調整できます。(調整値が大きくなるほど画面が明るくなります)

コントラスト

● 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

❶ <・>でお好みの映像に調整し、決定を押す
- 「00」～「100」の範囲で調整できます。(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)

黒レベル

● 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。

❶ <・>でお好みの明るさに調整し、決定を押す
- 「−50」(暗く)～「+50」(明るく)の範囲で調整できます。

色の濃さ

● 映像の色の濃さを調整します。

❶ <・>でお好みの濃さに調整し、決定を押す
- 「−50」(淡く)～「+50」(濃く)の範囲で調整できます。

色あい

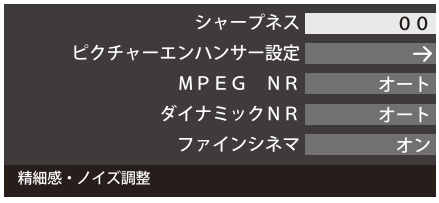
● 肌の色に注目して、色あいを調整します。

❶ <・>でお好みの色あいに調整し、決定を押す
- 「−50」(紫を強く)～「+50」(緑を強く)の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

● 「精細感・ノイズ調整」を選択して決定を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を∧・∨で選び、決定を押す
- 視聴する映像の種類および「映像モード」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷ 以降の手順で調整する
- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

シャープネス

● 映像の鮮明さを調整します。

① <・>でお好みの映像に調整し、決定を押す
- 「−50」(やわらか)～「+50」(くっきり)の範囲で調整できます。

ピクチャーエンハンサー設定

● 緻密で精細感のある映像を表示します。

● 「ピクチャーエンハンサー設定」を選択して決定を押すと、「ピクチャーエンハンサー」、「ゲイン調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

ピクチャーエンハンサー

● ピクチャーエンハンサーの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」は機能しません。

※ピクチャーエンハンサーと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のピクチャーエンハンサー、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

① ∧・∨で「ピクチャーエンハンサー」を選び、決定を押す

② ∧・∨で以下から選び、決定を押す
- オート…… 映像の種類に応じて自動的にピクチャーエンハンサーの機能が働きます。
- オフ…… この機能は働きません。

ゲイン調整

● ピクチャーエンハンサーの効果(強さ)を調整します。

① ∧・∨で「ゲイン調整」を選び、決定を押す

② <・>で調整し、決定を押す

調整範囲	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
01 ～ 05	

MPEG(エムペグ) NR

● デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。

① ∧・∨でお好みの設定を選び、決定を押す
- 強、中、弱‥ MPEG NR の効果が切り換わります。強くするほどノイズをより抑える方向に働きます。
- オフ…… この機能は働きません。

※効果を強くすると精細感を損なう場合があります。

お好みの映像に調整する つづき

ダイナミックNR

●映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

① ∧·∨でお好みの設定を選び、決定を押す
- オート…… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 強、中、弱‥ ダイナミックNR の効果が切り換わります。
- オフ…… この機能は働きません。

※通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

ファインシネマ

●映画ソフト（フィルム映像）のもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。

※映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

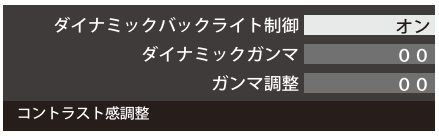
※映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

① ∧·∨で以下から選び、決定を押す
- オン…… ファインシネマの機能が働きます。
- オフ…… この機能は働きません。

コントラスト感調整

●「コントラスト感調整」を選択して決定を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

❶調整する項目を ∧·∨で選び、決定を押す
●視聴する映像の種類および「映像モード」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷以降の手順で調整する
●他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

ダイナミックバックライト制御

●映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① ∧·∨で以下から選び、決定を押す
- オン……ダイナミックバックライト制御の機能が働きます。
- オフ……この機能は働きません。

ダイナミックガンマ

●映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

① <·>で調整し、決定を押す

調整レベル	数値が大きくなるほどメリハリが強調されます。
00 ～ 10	

ガンマ調整

●映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① <·>で調整し、決定を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
−04 ～ +04	

色温度

●画面全体の色味を調整します。

① <·>で調整し、決定を押す

調整範囲	調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
00 ～ 10	

映像調整の初期化

●「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

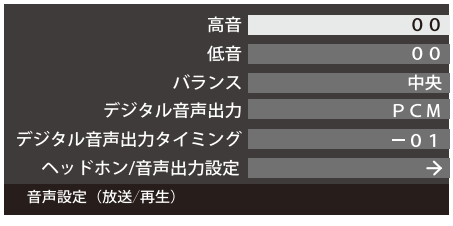
❶ <·>で「はい」を選び、決定を押す

お好みの音声に調整する

●見る番組や映像に応じて、お好みの音声に調整することができます。

1 設定 を押し、∧·∨で「音声設定」を選び、決定を押す

2 調整する項目を∧·∨で選び、決定を押す



3 以降の手順でお好みの音声に調整する

高音

●高音の強さを調整します。

❶ ∧·∨で「高音」を選び、決定を押す

❷ <·>で調整し、決定を押す
●「−20」（弱く）～「+20」（強く）の範囲で調整できます。

低音

●低音の強さを調整します。

❶ ∧·∨で「低音」を選び、決定を押す

❷ <·>で調整し、決定を押す
●「−20」（弱く）～「+20」（強く）の範囲で調整できます。

お好みの音声に調整する つづき

バランス

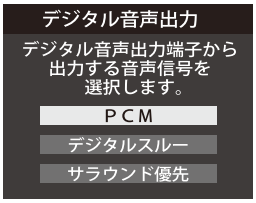
● 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

❶ く・>で調整し、決定を押す
- 「左20」（右を弱く）～「中央」（左右同じ）～「右20」（左を弱く）の範囲で調整できます。

デジタル音声出力

● デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定です。
● オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
● オーディオ機器から音声が出ない場合は、「PCM」に設定してください。

❶ ∧・∨で信号を選び、決定を押す



- PCM ……
  常にリニアPCM信号が出力されます。
  オーディオ機器がリニアPCM信号のみに対応している場合は、この設定にします。
- デジタルスルー….
  AAC(ビットスルー)がそのまま出力されます。
- サラウンド優先….
  コンテンツの音声信号がサラウンド音声（5.1chや4.1ch サラウンド音声など）の場合にそれらの信号が出力されます。それ以外の場合はリニアPCM信号が出力されます。オーディオ機器がAACのサラウンド音声に対応している場合は、この設定にすることでサラウンド音声が楽しめます。

ご注意
● テレビから出力されるデジタル音声は、デジタル音声出力設定を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器（アンプなど）で正常に再生できない形式があります。

お知らせ
- ● デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）がデジタル音声出力端子から出力されないことがあります。
- ● ビデオ入力を選択しているときは、デジタル音声出力端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- ● HDMI 入力の選択時に、HDMI 入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらずデジタル音声出力端子から信号は出力されません。（HDMI 入力端子が対応している音声信号については、58をご覧ください）

デジタル音声出力タイミング

● デジタル音声出力端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。

❶ く・>でお好みのタイミングに調整し、決定を押す
- 「−3」～「0」の範囲で調整できます。
- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。

お知らせ
- ● 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン／音声出力設定

● ヘッドホン／音声出力端子の設定をします。

❶ ∧・∨で「ヘッドホン／音声出力設定」を選び、決定を押す
- 以下、「出力設定」、「ヘッドホンモード」、「外部スピーカー出力設定」を設定します。

出力設定

● ヘッドホン／音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。
※ ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン」に設定してください。

❶ ∧・∨で以下から選び、決定を押す
- ヘッドホン：
  ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。
- 外部スピーカー：
  ヘッドホン／音声出力端子に外部スピーカーに接続しているアンプを接続する場合に選択します。

ヘッドホンモード

● 「出力設定」で「ヘッドホン」を選んだときに設定します。

❶ ∧・∨で以下から選び、決定を押す
- 通常モード……ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、テレビのスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
- 親切モード……ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、テレビのスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。

外部スピーカー出力設定

● 「出力設定」で「外部スピーカー」を選んだときに設定します。

❶ ∧・∨で以下から選び、決定を押す
- 固定…… ヘッドホン／音声出力端子から一定の音量レベルで音声が出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。
- 可変…… ヘッドホン／音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調整することができます。

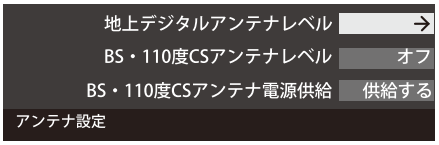
アンテナを調整する

電波の強さ（信号強度）を確認する

●テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

地上デジタル用アンテナの場合

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「アンテナ設定」⇨「地上デジタルアンテナレベル」の順に進む



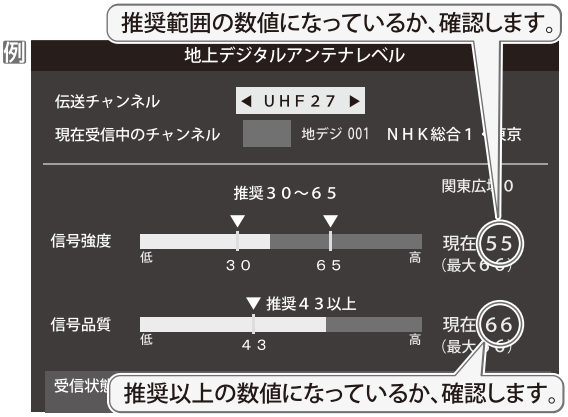
2 く・>で「伝送チャンネル」を選ぶ

●お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます。（お買い上げの販売店などにお聞きください）

●く・>を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1～VHF12 ↔ UHF13～UHF62 ↔ CATV13～CATV63

●信号強度（○印の数値）が推奨範囲内になっているか、信号品質（○印の数値）が推奨の数値以上になっているかを確認します。



BS・110度CS用アンテナの場合

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「アンテナ設定」⇨「BS・110度CSアンテナレベル」の順に進む

2 BS または CS で放送の種類を選ぶ

3 チャンネル でチャンネルを選ぶ

●無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。

●アンテナレベルの数値が推奨の数値以上になっているか確認します。

アンテナを調整する

●アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

●画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、決定を押す

お知らせ

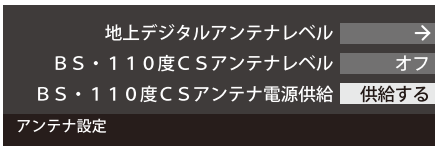
●地上デジタルアンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。

●地上デジタルアンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです。（「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります）

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。
  マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「アンテナ設定」⇨「BS・110度CSアンテナ電源供給」の順に進む



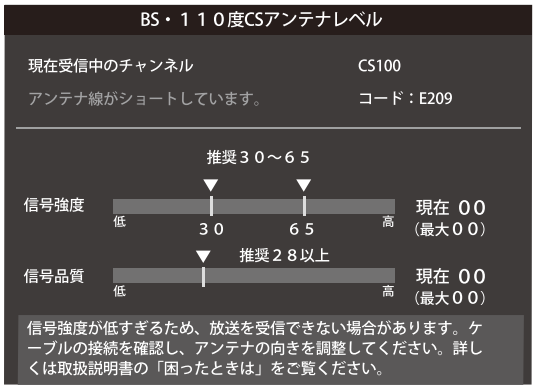
2 ∧∨で「供給する」または「供給しない」を選び、決定を押す



アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「BS・110度CSアンテナ電源供給」の設定が「供給しない」に切り換わります。

例



お知らせ

- 「BS・110度CSアンテナ電源供給」を「供給する」に設定した場合でも、本機の電源が「切」または「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません。（BS・110度CSデジタル放送を録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります）

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

●地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
- 初期スキャン……「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
- 再スキャン……放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
- 自動スキャン……本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。

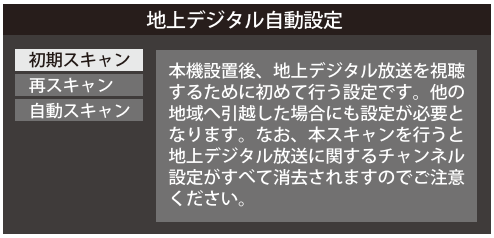
※初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

●受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン（1～12）に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「チャンネル設定」⇨「地上デジタル自動設定」⇨「初期スキャン」の順に進む

●画面の説明をよくお読みください。

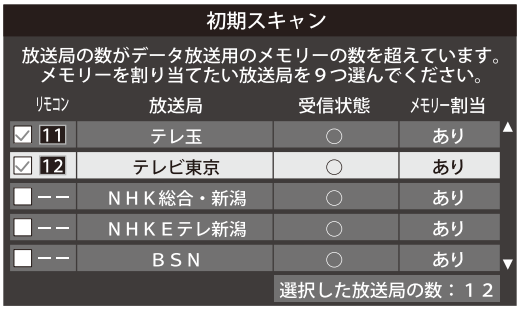


2 お住まいの地方を∧∨・＜・＞で選び、決定を押す

3 お住まいの都道府県または地域を∧∨・＜・＞で選び、決定を押す

●下図の画面が表示された場合は「データ放送用メモリーの割り当て」78ページをしてください。

例



4 初期スキャン終了の画面が表示されたら、＜・＞で「はい」を選んで決定を押す

5 設定内容を確認したら、決定を押す

再スキャンをするとき

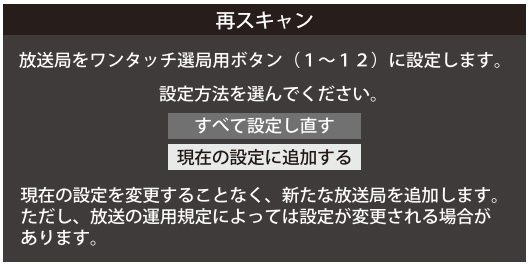
●新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「チャンネル設定」⇨「地上デジタル自動設定」⇨「再スキャン」の順に進む

●データ放送用のメモリー割当画面（左記手順3 参照）が表示された場合は78ページをご覧ください。

2 下図の画面が表示されたら、∧∨でどちらかを選び、決定を押す

●画面の説明を読んで、1～12への設定方法を選びます。



3 再スキャン終了の画面が表示されたら、＜・＞で「はい」を選んで決定を押す

4 設定内容を確認したら、決定を押す

自動スキャンの設定を変えるとき

●お買い上げ時は「自動スキャンする」に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、「自動スキャンしない」に設定してください。

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「チャンネル設定」⇨「地上デジタル自動設定」⇨「自動スキャン」の順に進む

2 ∧∨で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」を選び、決定を押す

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき つづき

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みで、リモコンのワンタッチ選局ボタン（1～12）で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、前ページの「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「手動設定」はできません。

1 設定 を押し、へ･∨と決定で「初期設定」⇨「チャンネル設定」⇨「手動設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類をへ･∨で選び、決定を押す

3 設定するボタン（1～12）の番号をへ･∨で選び、決定を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

例



4 へ･∨で「チャンネル」を選び、く･>で受信チャンネルなどを選ぶ

例



- く･>を押すと次のように切り換わります。
  - 「地上デジタル」の場合
    →「テレビ」↔「データ」←
    →地デジのチャンネルを順に選択←
  - 「BS」の場合
    →「テレビ」↔「ラジオ」↔「データ」←
    →BSデジタル のチャンネルを順に選択←
  - 「110度CS」の場合は放送メディア（テレビ/ラジオ/データ）の指定はできません。
  - く･>を押し続ければ、チャンネルを速く切り換えることができます。

放送メディアを選んだ場合

- 放送メディア（テレビまたはデータ）を選んだ場合は、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネルまたは複数のデータ放送チャンネルが、手順3で選んだ番号のボタンにまとめて設定されます。
- 以下の操作で放送局名を設定します。

❶ へ･∨で「放送局」を選ぶ

❷ 設定したい放送局名をく･>で選ぶ

例 手順3で「6」を選び、ここで「テレビ」を選んで「放送局」を「TBS」に設定すると、地上デジタル放送視聴時の操作で 6 を押すたびに、「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次に選局できます。

チャンネルを選んだ場合

- 手順3で選んだ番号のボタンに、ここで選んだチャンネルだけが設定されます。

※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（放送局名を変えることはできません）。

例 手順3で「6」を選び、ここで「地デジ061」を選ぶと、地上デジタル放送視聴時の操作で 6 を押したときに061チャンネルだけが選局できます。

5 設定が終わったらへ･∨･く･>で「設定完了」を選び、決定を押す

※「設定削除」を選ぶと、そのボタンの設定を削除することができます。（「チャンネル」の欄が「ーーー」の表示になります）

- 他のボタンの設定も変更する場合は、手順3～5を繰り返します。

お知らせ
- 手動設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき つづき

視聴しないチャンネルをスキップする

- チャンネル で選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは番組表 21 に表示されません。また、番組検索 25 の対象になりません。

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「チャンネル設定」⇨「チャンネルスキップ設定」の順に進む
- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を∧∨で選び、決定を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを∧∨で選び、決定を押す

例

チャンネルスキップ設定　地上デジタル

チャンネル	放送局	スキップ
地デジ０１１	ＮＨＫ総合１・東京	受信
地デジ０１２	ＮＨＫ総合２・東京	受信
地デジ０２１	ＮＨＫＥテレ１東京	受信
地デジ０２２	ＮＨＫＥテレ２東京	スキップ
地デジ０２３	ＮＨＫＥテレ３東京	スキップ
地デジ０３１	テレ玉１	受信

手順2で「地上デジタル」を選んだ場合

- 決定を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。
- 放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を変えるときは 青 を押します。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順3の操作を繰り返します。（違う放送のチャンネルを設定する場合は 戻る を押し、手順2からの操作を繰り返します）

チャンネル設定を最初の状態に戻すには

- すべてのチャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
- チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すと、地上デジタル放送は受信できません。受信するには、「初期スキャン」 74 をしてください。
- この操作をしても、「データ放送用メモリーの割り当て」 78 や、双方向サービスの利用で本機に記憶された住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報はそのままです。

1 設定 を押し、∧∨と決定で「初期設定」⇨「チャンネル設定」⇨「チャンネル設定の初期化」の順に進む
- 確認画面が表示されます。

2 ＜・＞で「はい」を選び、決定を押す

お知らせ

■チャンネルスキップ設定について
- 「手動設定」をしたチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。
- 放送局の代表チャンネルを「スキップ」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「スキップ」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

データ放送の設定をする

郵便番号と地域を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「はじめての設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「初期設定」⇨「データ放送設定」⇨「郵便番号と地域の設定」の順に進む
- 郵便番号の入力画面が表示されます。

2 お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10/0 で入力し、決定を押す
- 上3ケタを入力して決定を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。



3 該当する地方を∧·∨·<·>で選び、決定を押す
- 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。

4 該当する地域を∧·∨·<·>で選び、決定を押す
- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

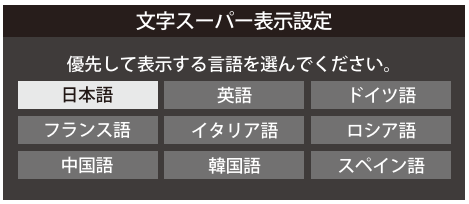
災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「初期設定」⇨「データ放送設定」⇨「文字スーパー表示設定」の順に進む
- 「文字スーパー表示設定」の画面が表示されます。

2 ∧·∨で「表示する」を選び、決定を押す
- 「表示しない」を選んだ場合、操作はこれで終わりです。

3 優先する言語を∧·∨·<·>で選び、決定を押す



お知らせ

■郵便番号と地域の設定について
- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後にデータ放送を選局し直してください。

■文字スーパー表示の設定について
- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「表示しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定により放送受信時に強制表示することがあります。

データ放送用メモリーの割当画面が表示されたら

●「はじめての設定」の「地上デジタルチャンネル設定」や、「初期スキャン」74の手順3、「再スキャン」74の手順1でデータ放送用メモリーの割当画面が表示された場合は、以下の手順で設定します。

■個人の情報とデータ放送用メモリーの割り当てについて

●地上デジタル放送では、放送局ごとに視聴者個人の情報（たとえば、視聴ポイント数など）を利用したサービスが行われる場合があり、本機はその情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリーに記憶しています。
通常、メモリーは足りていますが、たとえば、引越しをした場合で、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリーの数を超えてしまうことがあります。
その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリーの割当画面（下の手順1の画面）が表示されますので、以下の操作でメモリーを割り当てる放送局を設定してください。

●メモリーを割り当てなかった放送局については、個人の情報がすべて消去されますのでご注意ください。

1 メモリーを割り当てる放送局を ∧·∨で選び、決定を押す

●選んだ放送局にチェックマーク☑がつきます。
もう一度決定を押すと、指定が取り消されます。

●ワンタッチ選局ボタン（1～12）に設定されている放送局については、メモリーが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。

●このあと、手順2～4の操作をすると、メモリー割り当ての指定をしなかった放送局の個人の情報はすべて消去されます。
消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

設定の場面によって名称が変わります。

例

初期スキャン

放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を９つ選んでください。

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
☑ 11	テレ玉	○	あり
☑ 12	テレビ東京	○	あり
☐ ーー	ＮＨＫ総合・新潟	○	あり
☐ ーー	ＮＨＫＥテレ新潟	○	あり
☐ ーー	ＢＳＮ	○	あり

選択した放送局の数：１２

2 手順1を繰り返し、九つの指定をする

●1～12については自動的に設定されます。それらを除いた九つを指定します。

3 ＞を押す

●手順4の画面になります。（確認メッセージが表示されます）

●九つよりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。
決定を押したあと、手順1～2の操作で九つの指定をしてください。

4 ＜·＞で「はい」を選び、決定を押す

●指定した放送局についてデータ放送用メモリーが割り当てられ、ここでの設定をする前の場面に自動的に戻ります。
指定以外放送局の個人情報はすべて消去されます。

例

初期スキャン

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
5	ＴＯＫＹＯ　ＭＸ	○	あり
6	ＴＢＳ	○	あり
7	ｔｖｋ	○	あり

メモリーを割り当てる放送局は上記でよろしいですか？

はい　いいえ

メモリーを割り当てなかった放送局に関するデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻すことができませんのでご注意ください。

5 このページの設定をする前の操作を続ける

●「初期スキャン」の場合
「初期スキャン」74の手順4へ

●「再スキャン」の場合
「再スキャン」74の手順2へ

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

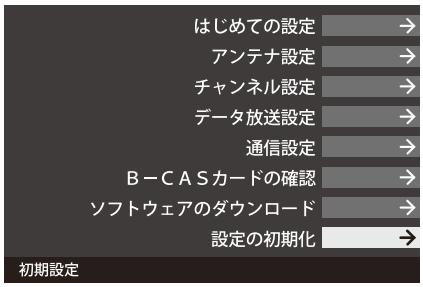
- お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻します。
- 本機に設定されたすべての内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

※ データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合に行ってください。

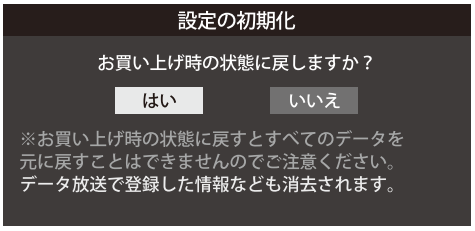
ご注意

※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

1 設定 を押し、∧·∨と決定で「初期設定」⇨「設定の初期化」の順に進む



2 初期化する場合は＜·＞で「はい」を選び、決定を押す



3 初期化終了の画面が表示されたら、電源を切る

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「設定の初期化」[79] をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

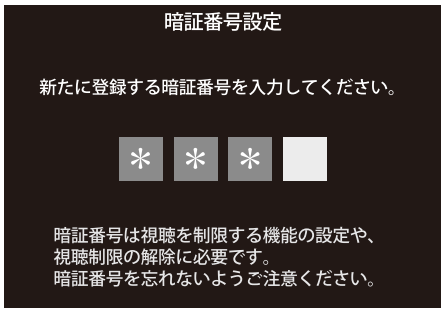
ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。
  必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

1 設定 を押し、∧∨と 決定 で「機能設定」⇨「視聴制限設定」⇨「暗証番号設定」の順に進む
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を 1 〜 10/0 で入力する
- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を 1 〜 10/0 で入力する
- 間違えて入力した場合は、＜を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「＊」で表示されます。



重要
登録した暗証番号はメモするなどして、なくさないように保管してください。

4 1 〜 10/0 でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で 決定 を押す

暗証番号を削除するとき

1 設定 を押し、∧∨と 決定 で「機能設定」⇨「視聴制限設定」⇨「暗証番号削除」の順に進む
- 暗証番号の入力画面になります。

2 1 〜 10/0 で暗証番号を入力する

3 確認画面で、＜・＞で「はい」を選び、決定 を押す

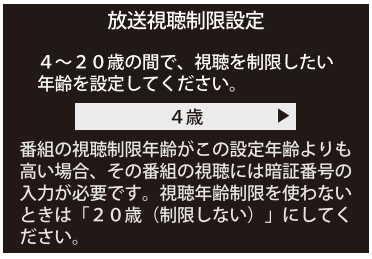
番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

1 設定 を押し、∧∨と 決定 で「機能設定」⇨「視聴制限設定」⇨「放送視聴制限設定」の順に進む
- 暗証番号の入力画面になります。

2 1 〜 10/0 で暗証番号を入力する

3 ＜・＞で年齢を設定し、決定 を押す
- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳（制限しない）」に設定します。



- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- 決定 を押し、1 〜 10/0 で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- 決定 を押し、設定が必要な項目を設定します。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「放送からの自動ダウンロード」の設定を「する」（お買い上げ時の設定）にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。
  常に最新のソフトウェアで使用することができます。更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します。（情報を確認する操作はありません）
- 「放送からの自動ダウンロード」は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送電波からのダウンロードに対応します。
  ご使用の環境に合わせてソフトウエアの更新を行います。
- 更新用ソフトウェアの自動ダウンロードと自動更新は、本機の電源が「待機」（リモコンで電源を切った状態）のときに、放送電波で行われます。

自動ダウンロードの設定を変更する

1 設定 を押し、へ･∨と 決定 で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からの自動ダウンロード」の順に進む

2 へ･∨で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 青 を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。

用語

■ ダウンロード
放送波を使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 サブメニュー を押し、へ･∨と 決定 で「その他の操作」⇨「ソフトウェアバージョン」の順に進む

- 設定 ⇨「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアバージョン」でも確認できます。
- ソフトウェアのバージョンが表示されます。

例

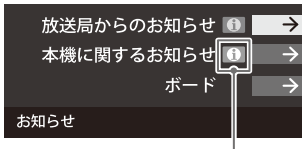


お知らせを見る

- お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、画面表示 を押したときに、画面に「お知らせアイコン」が表示されます。84

1 サブメニュー を押し、へ・∨と決定で「その他の操作」⇨「お知らせ」の順に進む

2 へ・∨でお知らせの種類を選び、決定を押す



未読のお知らせはオレンジ色で表示されます。

- 放送局からのお知らせ…デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ…本機が発行したお知らせです。
- ボード……1・10度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 読みたいお知らせを へ・∨で選び、決定を押す

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは



❶ 青 を押す

- 「本機に関するお知らせ」が表示されます。
- お知らせが複数件ある場合は、「本機に関するお知らせ」一覧が表示されます。へ・∨で確認するお知らせを選び、決定を押して表示させます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青 を押す

❷ <・>で「はい」を選び、決定を押す

※本機に関するお知らせがすべて削除されます。

お知らせ

■「お知らせ」について

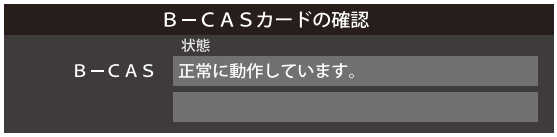
- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。
- 「ボード」は、110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

B-CASカード情報を確認する

- B-CASカードの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。

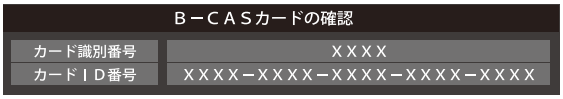
1 設定 を押し、へ・∨と決定で「初期設定」⇨「B-CASカードの確認」の順に進む

- B-CASカードの状態確認結果が表示されます。



2 決定を押す

- B-CASカードの情報が表示されます。



3 情報を確認したら、戻る を押す

ライセンスおよび商標などについて

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE
  THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO NO LISENCE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.LC. SEE HTTP//WWW.MPEGLA.COM

その他

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI 入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	SD :480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
ラジオ	ラジオ放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある番組
データ	データ放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組
16 : 9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	ダビング	録画回数が制限されている番組
4 : 3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
ステレオ	ステレオ音声放送	デジタルコピー¥	有料でデジタル録画ができる番組
サラウンド	サラウンドステレオ放送	デジタルコピーX	デジタル録画ができない番組
二重音声	二重音声放送	光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
字	字幕放送	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音ができる番組
MV	マルチビューサービス（複数の映像・音声があり、映像・音声が連動して切り換わる番組）	光デジタルコピー¥	有料で光デジタル録音ができる番組
HD	デジタルハイビジョン放送	光デジタルコピーX	光デジタル録音ができない番組
HD :1080i	放送フォーマットが1080i のデジタルハイビジョン放送	アナログコピー可	アナログ録画ができる番組
HD :720p	放送フォーマットが720p のデジタルハイビジョン放送	アナログコピー¥	有料でアナログ録画ができる番組
SD	デジタル標準テレビ放送	アナログコピーX	アナログ録画ができない番組
SD :480i	放送フォーマットが480i のデジタル標準テレビ放送		

● ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	録画予約		録画番組が「保護」対象
	連ドラ予約		録画番組が「上書き」対象
	視聴予約		未読の「お知らせ」
	録画中		既読の「お知らせ」
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。	データ取得中	データの取得中です。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。		非リンク型サービス（通信番組）23
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。		SSLなどの暗号通信をしている場合 23

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに製品ソフト開発会社または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、（ 問い合わせ先、HP等を記載のこと）へお願いいたします。

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、製品ソフト開発会社自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、製品ソフト開発会社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。
「EULA」の適用を受けない製品ソフト開発会社自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機 は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、製品ソフト開発会社は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、その様な損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。
なお、各「EULA」は製品ソフト開発会社以外の第三者による規定です。

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox parted xfsprogs u-boot cryptsetup	Exhibit A
glibc libwebsockets gcc DirectFB libgpg-error libgcrypt LVM2	Exhibit B
fuse	Exhibit C
OpenSSL	Exhibit D
dtoa	Exhibit E

対応ソフトウェアモジュール	
MALI GPUS LINUX KERNEL DEVICE DRIVERS	Exhibit F
popt	Exhibit G
libuuid	Exhibit H
libjpeg	Exhibit I
libpng	Exhibit J
libfreetype	Exhibit K
Zlib	Exhibit L
libevent	Exhibit M

故障かも・・・と思ったら

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

●降雨や降雪などで電波が弱くなったときは、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
●天候が回復すれば正常に映るようになります。

大雨が降っている

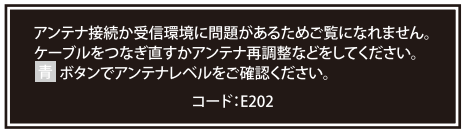


大雪が降っている



アンテナに雪が積もっている





本機内部からの動作音

●電源待機時に番組情報を取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
●「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからのきしみ音

●「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮する時に発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

●使用していない場合でも、番組情報取得の動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

症状に合わせて解決法を調べる

● テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
● 解決法に従って対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
● 表の中の「ページ」の項目は関連事項が記載されているページです。

テレビが操作できなくなったとき-テレビをリセットする

● リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

電源プラグを抜いてリセットする	本体の電源ボタンを長押ししてリセットする
①電源プラグをコンセントから抜いてください。 ②1分以上お待ちください。 ③電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れてください。	①テレビ本体の電源ボタンを4秒以上押し続けてください。 ②本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離してください。 ③しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」と表示されます。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	・電源プラグをコンセントに差し込んでください。	12
「電源」表示が消えていませんか。	・本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	12
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	・電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでください。	12

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	・障害物を取り除いてください。 リモコン受光部の位置は前面の中央下部にあります。	13
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池に交換してください。	13
リモコンの乾電池の向き（＋、ー）が合っていますか。	・向き（＋、ー）を確認し、正しく入れてください。	13
本体のボタンでは操作ができますか。	・上記の対処をしたうえで、なおリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。 お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。	8 9

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	・アンテナ線を確認して正しく接続してください。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	12
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	・確認して、まっすぐにしてください。（折らないようにご注意ください）	12
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	・アンテナ線を交換してください。	12
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	・アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。	12
電波が弱くありませんか。	・アンテナレベルを確認してください。 ・アンテナの向きを調整してください。（販売店にご相談ください）	72
アンテナ線の差込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。	・確認して、しっかりと接続してください。	12
アンテナ線（端子）がさびていませんか。	・販売店にご相談ください。	–

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	・確認して正しく接続してください。	57 58 59
機器の電源がはいっていますか。	・機器の電源を入れてください。	–
接続した機器の入力に切り換えましたか。	・リモコンの 入力切換 で、外部機器を接続した入力端子を選んでください。	28

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	・明るい部屋では、「あざやか」を選択してください。 ・「バックライト」などで適切な明るさに調整してください。	68 69 70

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	・視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択してください。	68 69 70

音声

音声が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	・＋音量－ で音量を上げてください。	17
画面に、消音 マークが表示されていませんか。	・消音 を押して消音を解除してください。 （＋音量－ でも解除できます）	17
「サウンドシステムスピーカー」になっていませんか。	・メニューの「スピーカー切換」で、「テレビスピーカー」を選んでください。	64

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	・メニューの「その他の操作」の「アンテナレベル表示」でアンテナレベルを確認してください。 ※推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	72 73
「初期スキャン」をしましたか。	・「初期スキャン」をしてください。	74
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	・一般社団法人放送サービス高度化推進協会のホームページ(www.apab.or.jp)で確認してください。	–
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	・CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。 (CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)	–

引越しをしたら、地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
引越し後「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	・県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」をしてください。 ・県内で引越しをした場合は、「再スキャン」をしてください。	74

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	・分配器は「全端子通電型」のものを使用してください。	–
有料放送ではありませんか。	・有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	–
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	・視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 ・ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してください。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) ・BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続してください。	12
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用していませんか。	・左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れる場合があります。	–

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんか。	・「番組表を更新する」の操作をしてください。	21 22

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
―	・番組表を表示中に(赤)ボタンを押して文字の大きさを切り換えてください。	23

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にしていませんか。	・番組表のメニューで「マルチ表示」を選択してください。	23
「チャンネルスキップ設定」で「スキップ」に設定していませんか。	・「チャンネルスキップ設定」で「受信」に設定してください。	76

お知らせアイコンが消えない

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	・メニューの「その他の操作」⇨「お知らせ」で内容を確認してください。 ※未読のお知らせが1件でも残っていると、アイコンは消えません。	82

録画・再生

USBハードディスクが使用できない（認識されない）

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	・「USB ハードディスクを接続する」に従って、正しく接続してください。	37
機器の電源がはいっていますか。	・USBハードディスクの電源を入れてください。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプタを接続してご使用ください。	–
機器が本機に登録されていますか。	・USBハードディスクを本機に登録してください。	38

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	・残量を確認してください。 ・不要な番組を削除してください。 ・「自動削除設定」を「削除する」に変更してください。	53
コピー禁止の番組ではありませんか。	・録画はできません。	–
外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像ではありませんか？	・本機は左記の番組や映像の録画には対応しておりません。	–
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	・本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※「詳細設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	45
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	・「詳細設定」で「追跡キーワード」を正しく設定してください。 ※1回限りのキーワード（「第〇〇話」や出演者名など）を削除してください。	45
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	・メニューの「その他の操作」⇨「お知らせ」で内容を確認してください。 ※番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	82

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。	・「自動削除設定」を「削除しない」に設定してください。 ・または、消したくない番組を保護してください。	52
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。	・録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かないでください。 ※左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 ・「録画番組を修復する」の操作をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。	49 50

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	・HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続してください。	58 61 83
本機と接続機器の設定は正しいですか。	・接続機器側の連動設定を確認してください。機器の取扱説明書を参照してください。 ・本機の「接続機器設定」にある「HDMI連動機能」を確認してください。	61 62

オーディオ機器に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続機器側の設定は正しいですか。	・オーディオ機器側の連動設定を確認してください。 （機器の取扱説明書を参照してください）	–
本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。	・「HDMI連動設定」の「サウンドシステム連動」を「使用する」に設定してください。また「HDMI連動設定」の「優先スピーカー」を「サウンドシステムスピーカー」に設定すると、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 ・サブメニューで一時的に切り換えることもできます。	62

IPアドレスが取得できない

<table>
<tr><th>確認すること</th><th>解決法・その他</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>IPアドレスの表示が空欄ですか。</td><td>・「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」を確認してください。
・上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合（すべて空欄になっている場合）は以下を確認してください。
① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認してください。
② ルーターのアクセスランプ（ルーターのLANポートにある小さなランプ）が点滅しているか確認してください（正常に通信できていればランプが点滅します）。
③ LANケーブルとルーターもコネクタを確認してください。
パソコンなど他のネットワーク機器から有線LANでインターネット接続が可能でしたら、そのLANケーブルを本機に接続してください。
接続できたとき
最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターのコネクタの不具合が考えられます。LANケーブルの交換さらにルーターのコネクタを変更してください。
接続できないとき
LANケーブルまたはルーターのコネクタではなく、本機に問題があります。
④ インターネット接続可能なそのほかの機器（パソコンなど）のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定してください。
⑤ 「クラウドサービス」などネットワークを利用する機能が使用できるか確認してください。
・上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットしてください。
<table><tr><th>リセットのしかた</th><th>操作で対処したいとき</th></tr><tr><td>① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② 1分以上待ってください。
③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れてください。</td><td>① テレビ本体の電源ボタンを押し続けてください。
② 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離してください。
③ しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」と表示されます。</td></tr></table>・リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をしてください。</td><td>66
67
79</td></tr>
</table>

IPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ
取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。	・お使いのルーターは、ブロードバンドルーターか確認してください。 ・「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」を確認してください。 ・取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。 エラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者（NTT東日本、NTT西日本など）にご相談ください。 ・「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。 ・ルーターを再起動する ・本機をリセットする ・本機のIPアドレスを確認する	66 67

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。メニューから降雨対応放送に切り換えられます。 コード：E201」	・気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	・降雨対応放送に切り換えることができます。	30
「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 ［青］ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	・アンテナが放送に適合していない。 ・アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 ・BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 ・アンテナの方向ずれや故障。 ・電波が弱くて視聴できない。 ・雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※放送が休止中の場合も表示されることがあります。	・放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 ・アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認してください。（販売店にご相談ください） ・BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにしてください。	12 72 73
「現在放送されていません。 コード：E203」	・選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	・番組表などで放送時間を確認してください。	–
「該当するチャンネルはありません。コード：E204」	・放送のないチャンネルを選局した。	・番組表などでチャンネルを確認してください。	–
「miniB-CASカードが挿入されていません。 miniB-CASカードを挿入してください。」	・miniB-CASカードが挿入されていない。 ・miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 ・miniB-CASカードが抜けている。	・miniB-CASカードを正しく挿入してください。	11
「miniB-CASカードが正しく挿入されていません。 miniB-CASカードをご確認ください。」	・miniB-CASカードが接触不良を起こしている。	・miniB-CASカードをカチッと音が鳴るまで押して取り出し、金色端子部に汚れが無いか確認し、乾いた布でふき取り、もう一度入れ直してください。	11
「このminiB-CASカードはご使用になれません。」	・無効なminiB-CASカードが挿入されている。	・付属のminiB-CASカードの所有権は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。 認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属のminiB-CASカード台紙に記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社までお問い合わせください。	–

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「機器に接続できません。」	・接続ケーブルがはずれている。	・接続を確認してください。	–
	・USBハードディスクの電源が切れている。	・USBハードディスクの電源を入れてください。	–
	・USBハードディスクにエラーが発生した。	・USBハードディスクの電源を入れ直してみてください。	–
「再生できません。」	・録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	・再生できません。	–
	・録画再生時にUSBハードディスクにエラーなどの問題が発生した。または接続ケーブルがはずれてしまった。	・テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみてください。また、接続を確認してください。	–
「ハードディスクのエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	・録画中に本機またはUSBハードディスクにエラーなどの問題が発生した。	・テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみてください。	–
「情報取得中にエラーが発生しました。」	・録画した番組が正常に保存されなかった。	・「録画番組を修復する」の操作をしてみてください。	50
「USB端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本機の電源プラグをコンセントから抜き、もう一度電源プラグを差し込んでください。」	・USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	・以下の手順で復帰させます。 ①本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプタを接続してください。	–

LAN端子を使った通信に関するエラー

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	・サーバからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	・接続・設定の状態を確認します。	–
	・回線が混みあっている。	・しばらくたってから、もう一度操作します。	–
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバに接続できません。」	・本機にルート証明書が設定されていない。	・ルート証明書の発行元が不明またはルート証明書の期限切れです。 ルート証明書は、サーバを認証する第三者機関（認証局）を証明するものです。 弊社お客様サポートセンターにご相談ください。	–
「現在設定されているルート証明書ではサーバの安全性を確認できないため、接続できません。」	・ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバ証明書との検証ができない。		
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバに接続できません。」	・ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	・接続先の証明書が有効期限切れになっている。	・接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合接続はおこなわれません。（本機の動作は正常です）	–
「サーバの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	・サーバ証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	・接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	・認証エラーが発生した。		

ご使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

● 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
● 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
● 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
● 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
● 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
● 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
● 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
● 外部入力（ビデオ入力、HDMI入力1~4）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
  • ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  • 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

● 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順でおこなってください。
❶ 本機に接続したUSBハードディスクで録画やムーブ（移動）をしている場合は終了させる
●「予約の確認・変更・取り消しをする」46ページの手順で確認してください。
❷ 録画予約が設定されていないか確認する
●「予約の確認・変更・取り消しをする」46ページの手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
❸ 本体の電源ボタンを押して電源を切る
❹ 電源プラグをコンセントから抜く

録画・録音について

● 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
● 本機に接続した機器に録画・録音した内容の長期保存は保証できません。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
● 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
● あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
  • 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
  • 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
  • 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。

著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

●「設定の初期化」79ページで、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報）、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
● 廃棄時にご注意ください。
家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いのうえ、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

● 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
● 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●液晶パネルには、画面の一部に暗点（光らない点）や輝点（余計に光る点）がある場合があります。これは故障ではありません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
● 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組合せによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
● 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
● 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いません。
● 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、弊社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。 www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター TEL:0570-099-455

mail：mtc@maxzen.jp　受付時間：平日9:00～17:00 月曜～金曜日（祝日を除く）

○お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
○利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行なっておりません。
センドバック修理となりますので予めご了承ください。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用出来ると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させて頂きます。

修理料金について

修理料金は、技術料･部品代･製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行なっておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

廃棄時にご注意願います。

家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

保証書

■保証期間はお買い上げ日から1年です。保証対象は機器本体のみです。
（保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください）
■保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
■保証期間が過ぎている時はお買い上げの販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに
ご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証書			
製品名	50型フルハイビジョンLED液晶テレビ	ご購入履歴を印刷いただき本書と一緒に保管してください	
製品型番	J50TS06		
お買い上げ日	年　月　日	保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります	
故障の状況	できるだけ具体的に		
接続している機器		保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください	
お名前			
ご住所		販売店	
電話番号			

保証規定

1.修理はお買い上げの販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
2.ご贈答、ご転居の際は、お買上げの販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、
ご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
3.次のような場合、保証中でも有料修理になります。

・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
・お買上げ後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
・保証書の提示がない場合。
・保証書にお客様名、お買上げ日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
・一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
・不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
・オークション、フリマサイト、中古販売店にて購入された商品の場合。
・離島又は離島に準ずる遠隔地へ引取修理を行う場合の送料。

4.本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in japan.）
5.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品仕様

型番		J50TS06
電源		AC 100V～　50/60Hz
種類		地上・BS・110度CS対応液晶テレビ
液晶パネル	画面サイズ	50インチ
	バックライト	LED直下型バックライト
	駆動方式	VA
	画素数	1920(H)×1080(V)
	応答速度	8ms
	視野角	左右約 178°/上下約 178°
	輝度(最大値)	200cd/㎡
	コントラスト比	3000:1
地上波デジタル		地上デジタル：UHF(13～62ch)　CATVパススルー:(VHF,UHF)対応共有
BSデジタル		BSデジタル：BS000～BS999
110度CSデジタル		110度 CS デジタル：CS000～CS999
チューナー数		地上デジタル ×2、BSデジタル ×2、110度CSデジタル ×2
音声出力(スピーカー)		10W+10W
入力・出力端子	ビデオ入力 ×1	RCAピンジャック 映像:1V(p-p)、75Ω、同期負 音声:200mV(ms)、22KΩ以上
	HDMI入力 ×2 (HDMI1はARC対応)	HDMI　CEC対応　ARC対応 HDMI 対応入力解像度 480i.480p.720p.1080i.1080p.VGA.SVGA.XGA.WXGA.SXGA
	USB(録画専用)端子	×1
	LAN端子	×1
	光デジタル音声出力端子	×1
	ヘッドホン出力	×1(3.5mmステレオミニジャック)
HDD録画機能		裏番組録画対応、番組表から録画予約可能、最大録画番組数3000、 日時指定予約機能、放送時間連動機能、レジューム再生、追っかけ再生、 頭出し再生、ワンタッチスキップ機能、HDD省エネ設定機能
データ放送		双方向データ放送対応
番組表		電子番組表(EPG)対応、8日分受信、視聴予約可能
使用環境/保管環境		温度:5℃～40℃、相対湿度:80%未満(結露のないこと)
サイズ/W.H.D		(約)1134㎜×667㎜×71㎜(スタンド含まず) (約)1134㎜×724㎜×230㎜(スタンド含む)
重量		11kg(スタンド含む)
消費電力		104W
年間消費電力(標準設定時)		148kWh/年
付属品		リモコン×1個、リモコン用単4乾電池×2個(動作確認用)、miniB-CASカード×1枚、 取扱説明書(保証書)×1部、スタンド取付説明書、スタンド×2、スタンド固定ネジ×4 ※アンテナケーブルは付属しておりません。市販のものをご使用ください。

- 本製品は日本国内専用です。　This product is designed for use in Japan only.
- 本製品の補償内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。
- 本製品の仕様は改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- アンテナケーブルは付属しておりません。
- 本製品に接続可能なケーブルでも、外部機器との相性により接続しても使用できない場合があります。
- ケーブルテレビや外部機器を接続の際は、それぞれの取扱説明書をお読みください。
- 電源コードのプラグは万が一の事故防止に備えて、すぐに外せるコンセントへ接続してご使用ください。

MAXZEN

〇本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、
無効となりますので必ずご確認ください。
〇本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
〇本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
〇本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター
TEL.0570-099-455
受付時間：平日 9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日を除く)
mail：mtc@maxzen.jp

Copyright ©MAXZEN.Inc All Rights Reserved.